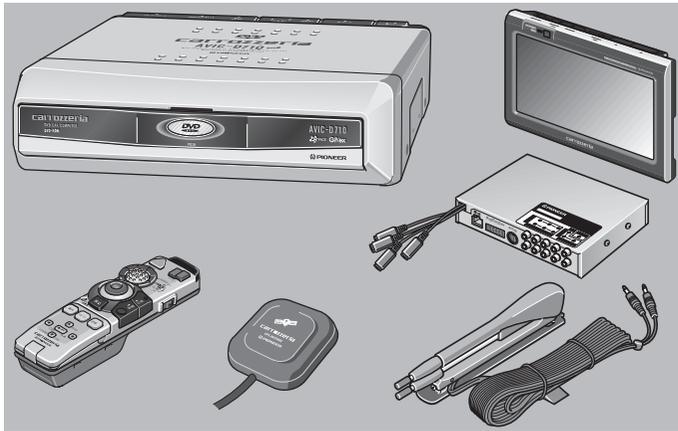


# AVIC-D710

# 取付説明書



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

**パイオニア株式会社**

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

© パイオニア株式会社 1998

< 98E00F0R01 > < CRA2477-A >

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

## 作業の進めかた

### ① はじめに

接続・取り付け部品を  
確認する ——— 2ページ  
製品の配置を考える ——— 4ページ

### ② 接続する

接続の前に知ってほしいこと ——— 5ページ  
接続する ——— 8ページ

### ③ 取り付ける

取り付けの前に  
知ってほしいこと ——— 20ページ  
それぞれのユニットを  
取り付ける ——— 21ページ

### ④ 接続・取り付けが終わったら

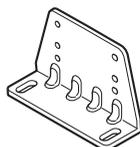
接続の確認と  
ナビゲーションの設定を行う — 44ページ

# 接続・取り付け部品を確認する

## ナビゲーション本体関係



① ナビゲーション本体 × 1



② 取付アングル × 2



③ 取付ベース × 2



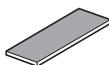
④ 粘着テープ × 2

⑤ 蝶ナット  
(6 mm) × 4⑥ 座付きネジ  
(4 × 8 mm) × 4⑦ タッピングネジ  
(6 × 16 mm) × 4

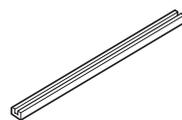
## TV チューナー関係



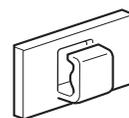
⑧ TVチューナー × 1

⑨ マジックテープ  
(やわらかい方) × 2⑩ マジックテープ  
(かたい方) × 2

## TV アンテナ関係

⑮ TVアンテナ  
右用・左用 各1

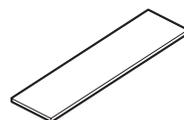
⑯ コードレール × 3

⑰ ガラス  
クリーナー剤 × 1

⑱ クランパー × 6



⑲ クロス × 1



⑳ 透明シート × 1

## GPS アンテナ関係



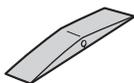
⑪ GPSアンテナ × 1



⑫ 金属シート × 1



⑬ クランパー × 5



⑭ 防水パッド × 1

### TV モニター関係



⑳ TVモニター × 1



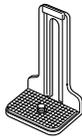
㉑ モニター取付金具 × 1



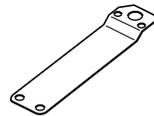
㉒ スパースー × 2



㉓ クランパー × 3



㉔ 高さ調整金具 × 1



㉕ 落下防止ステー



㉖ タッピングネジ  
(4 × 12 mm) × 7

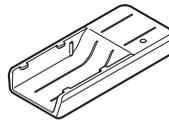
### リモコン関係



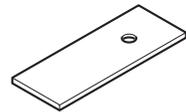
㉗ リモコン × 1



㉘ 単4形アルカリ  
乾電池 (LR03) × 2

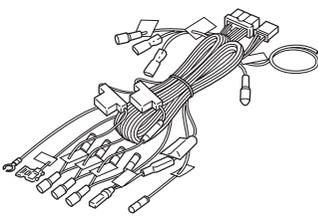


㉙ リモコンホルダー  
× 1

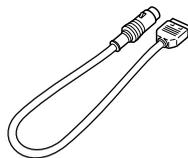


㉚ 両面テープ  
(80 × 30 mm) × 1

### コード関係



㉛ 集中電源コード × 1



㉜ RGBケーブル  
(60cm) × 1



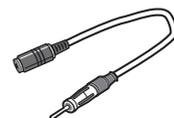
㉝ モニターコード  
(6 m) × 1



㉞ ピンリード線延長  
コード (5 m) × 1



㉟ Uエレメント  
コネクター × 1

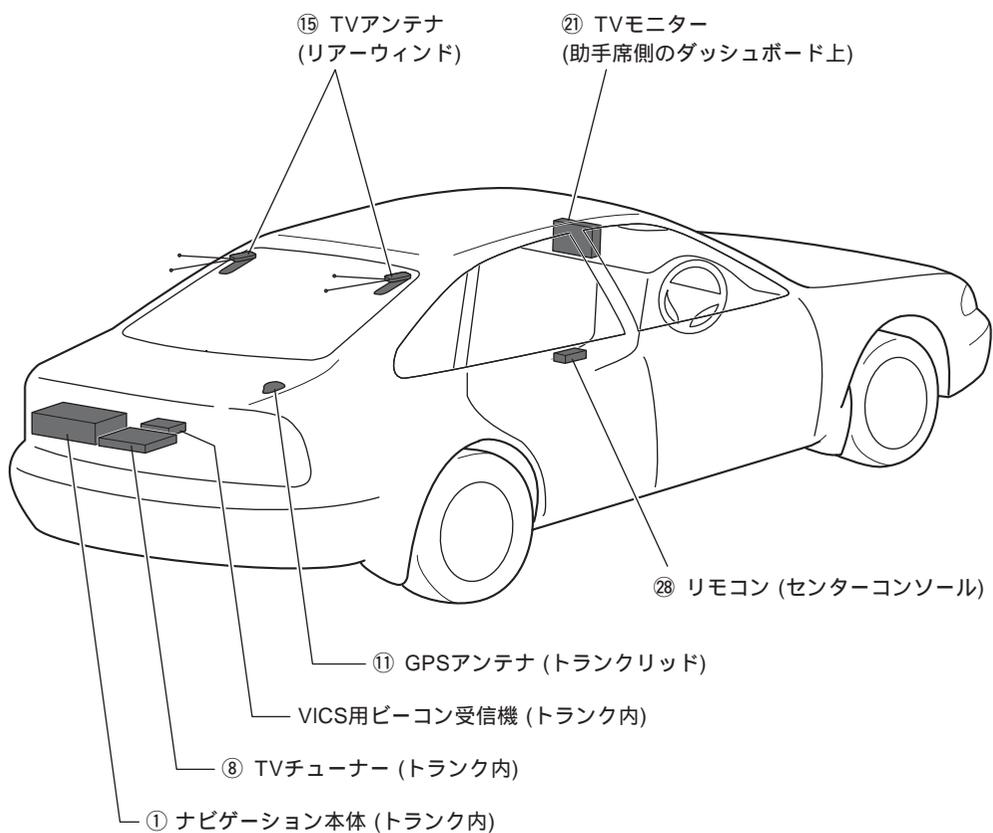


㊱ ミニプラグ JASO  
プラグ変換ケーブル × 1

# 配置例

下図は、別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。(数字が付いている製品が本機の構成です。)

実際は、組み合わせた製品と、ご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



## メモ

配置場所によっては、別売の延長ケーブルや取付キットが必要になることがあります。

# 接続の前に知ってほしいこと

## 接続上のご注意

赤リード線 (アクセサリ電源) は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

青/黄リード線 (パーキングブレーキスイッチ) は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

## ピンクリード線の接続について

ピンクリード線 (車速信号入力) は、内蔵のジャイロセンサー用のリード線です。必ず接続してください。

ピンクリード線を接続しない場合は、簡易ハイブリッド方式 (『取扱説明書』93ページ) で動作し、誤差が大きくなる場合があります。

ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売) をお使いください。

## 接続のポイント

ナビゲーションの映像はTV モニターのワイドモードを [フル] でご使用ください

ナビゲーションの映像は、TV モニターのワイドモードを [フル] にしたとき (『取扱説明書』66 ページ) に正しく表示するようになっています。(購入時には [フル] になっていますので、切り換えの必要はありません。)

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

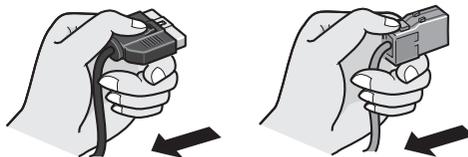
専用バス、光入出力の接続について

専用バス、光入出力の端子とケーブルは、同じ色同士を接続してください。(コネクターの接続部分が色分けされています。)

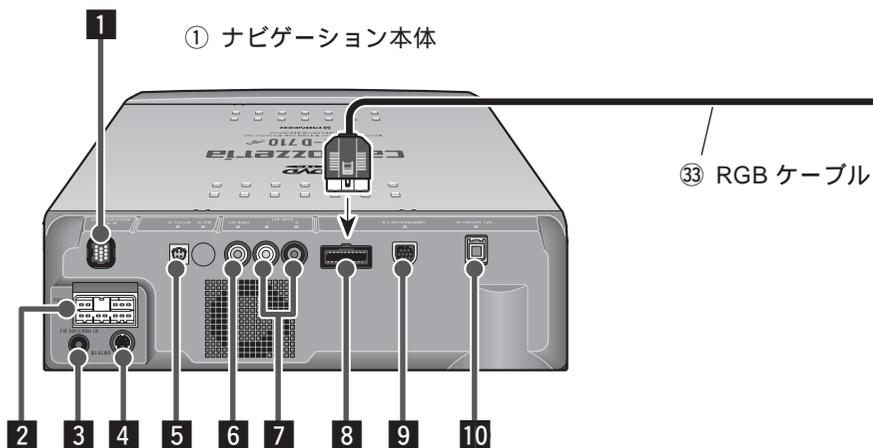
## コネクターの着脱のしかた

コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクター同士の色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



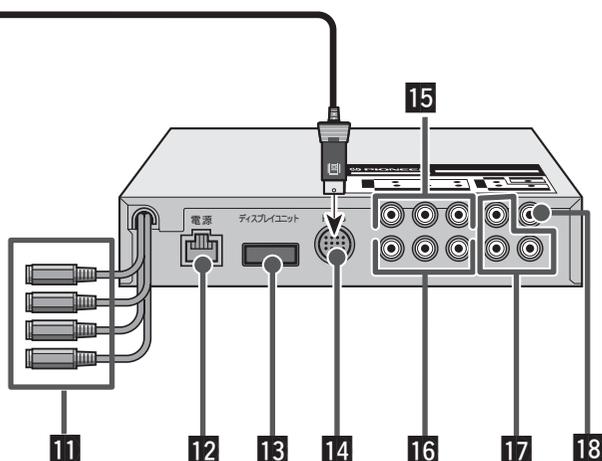
# 接続端子のなまえと働き



## ナビゲーション本体

- 1** 専用バス出力 (黒)  
オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の専用バス入力 (青) と接続します。
- 2** 電源  
付属の集中電源コードのGPSナビゲーションシステム用コネクタを接続して、車のバッテリーから電源をもらいます。
- 3** VICS/FM 多重アンテナ接続端子  
VICS/FM 多重放送を受信するためのアンテナを接続します。TVアンテナを接続する方法、FM 多重用アンテナを接続する方法、車載のアンテナを接続する方法の、3つの接続方法があります。(P. 18 ページ)
- 4** ビーコン受信機接続端子  
VICS用ビーコン受信機「ND-B2」を接続します。
- 5** 光入力 (青)  
オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」の光出力(黒)と接続します。
- 6** RCA ビデオ出力 (黄)  
NTSC方式の映像信号が出力されます。(この端子は通常は使用しません。)
- 7** RCA ガイド音声出力 (白・赤)  
ナビゲーションのガイド音声が出力されます。マルチCD/MDコントロールDSPチューナーCDアンプ「DEH-P707」と組み合わせたときに、ナビゲーションのガイド音声をカーステレオのスピーカーからも出力したい場合は「DEH-P707」のガイド音声入力 (黒) と接続します。
- 8** 20ピンRGB出力 (黒)  
RGB方式の映像信号やガイド音声などが出力されます。付属のRGBケーブルを使用して、TVチューナーのRGB入力と接続します。
- 9** 電話端子  
別売の携帯電話用接続アダプター「CD-H60」を使用してデジタル携帯電話を接続します。
- 10** GPSアンテナ接続端子  
付属のGPSアンテナを接続します。

## ⑧ TVチューナー



### TV チューナー

- 11** TVアンテナ接続端子 1 ~ 4  
付属のTVアンテナを接続します。
- 12** 電源  
付属の集中電源コードのTVチューナー用コネクタを接続して、車のバッテリーから電源をもらいます。
- 13** ディスプレイユニット接続端子  
付属のTVモニターを接続します。
- 14** RGB入力  
ナビゲーション本体の20ピンRGB出力と接続します。
- 15** ビデオ入力1 (映像: 黄 / 音声: 白・赤)  
8mmビデオやポータブルビデオを接続することができます。
- 16** ビデオ入力2 (映像: 黄 / 音声: 白・赤)  
オーバーレイディスプレイ「CDX-R101」の音声出力(TO TV)を接続したり、将来の外部入力用にお使いください。

- 17** リアモニター出力  
(映像: 黄 / 音声: 白・赤)  
リアモニター (後部座席専用モニター) 用の映像信号および音声信号が出力されます。後部座席に設置するモニターを接続してください。ナビゲーションの映像は出力されません。

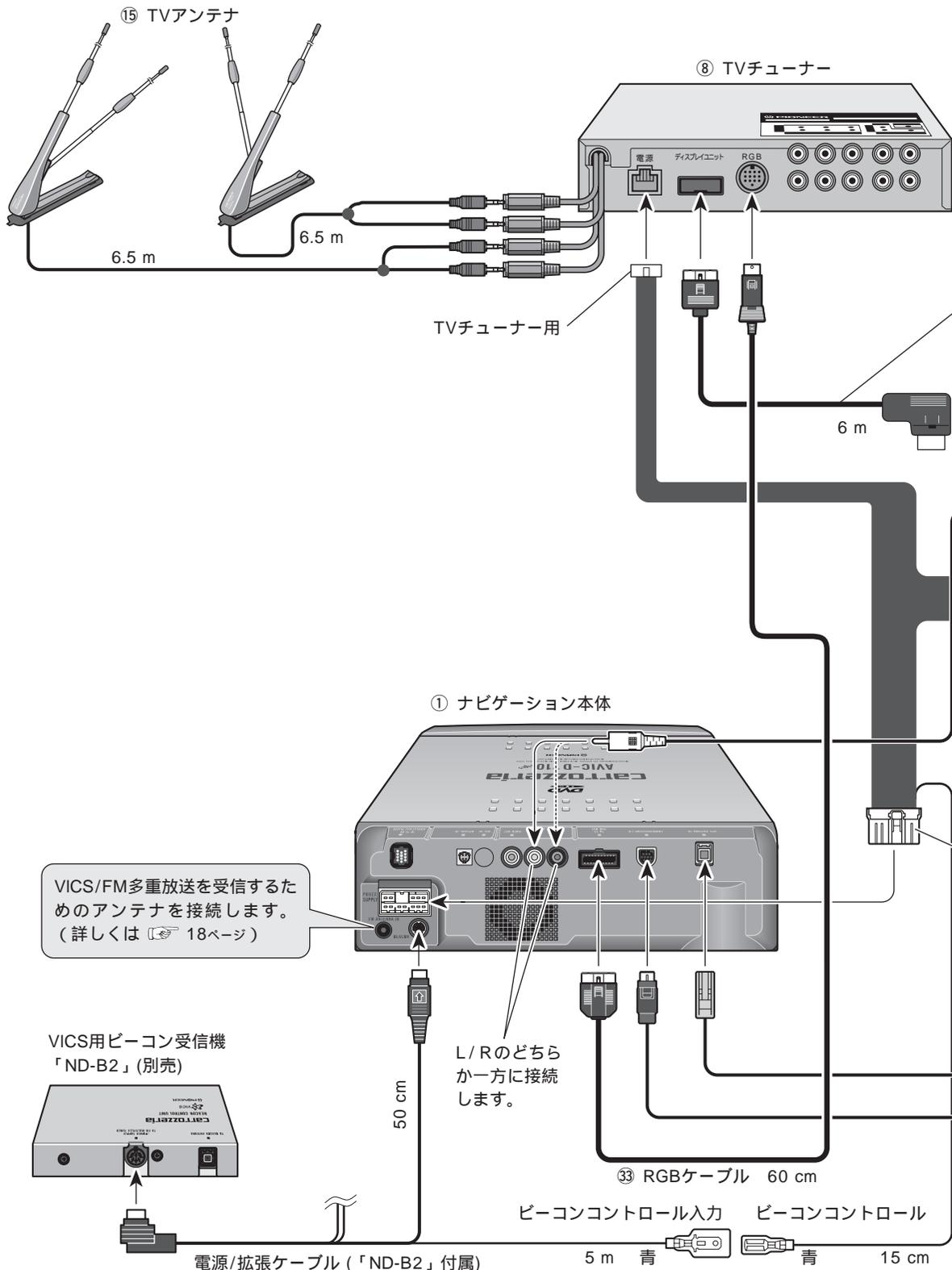
この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置には、絶対に設置しないでください。

- 18** 送信用アンテナ接続端子  
送信用アンテナを接続する端子です。  
(この端子は使用しません。)

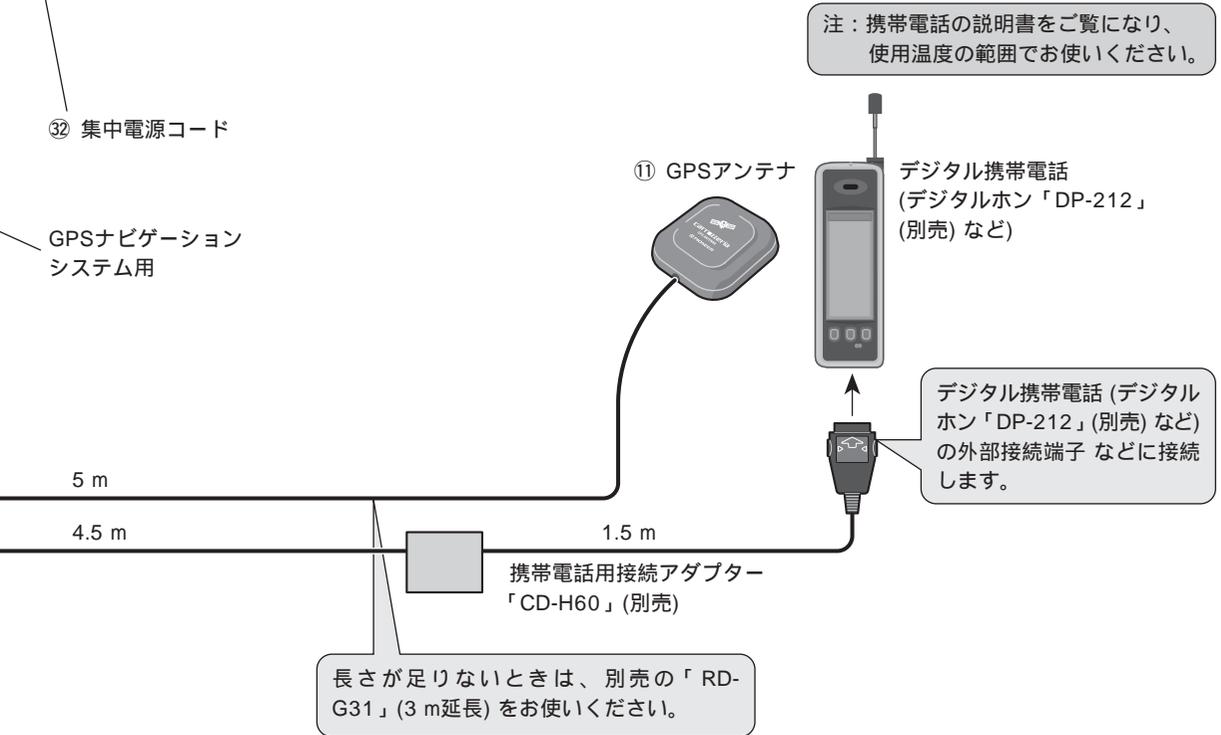
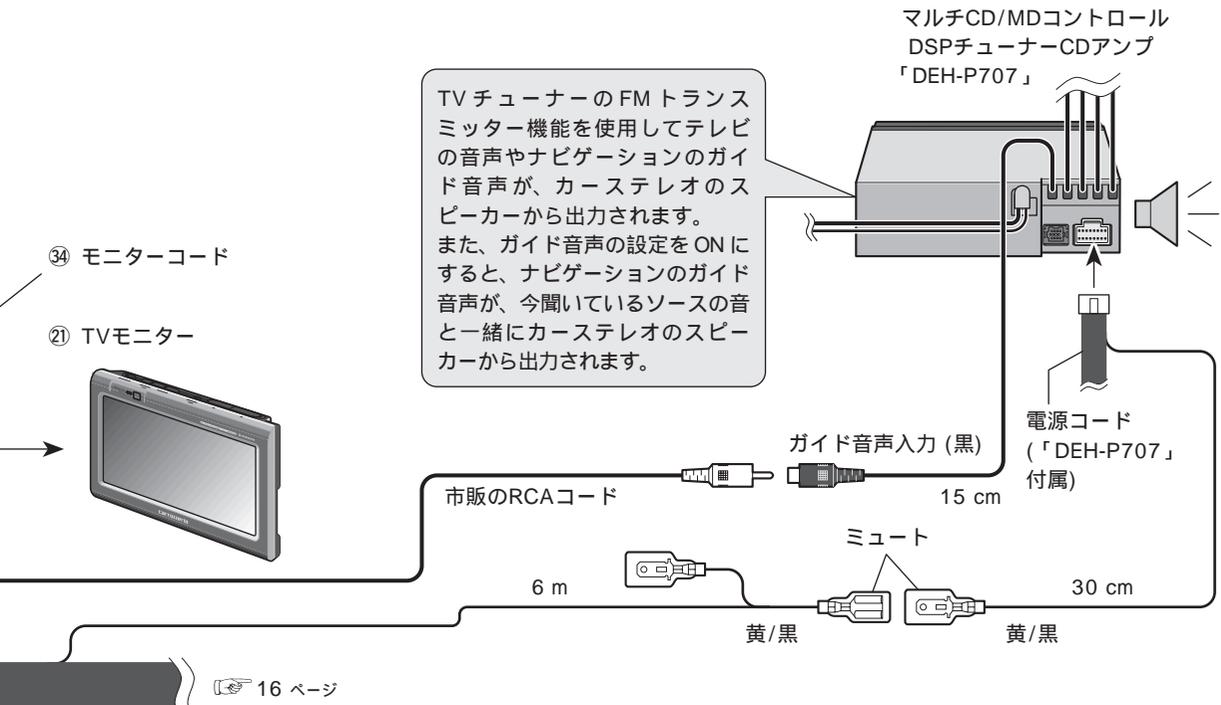
# 基本システムの接続

「DEH-P707」

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --



# を組み合わせた場合



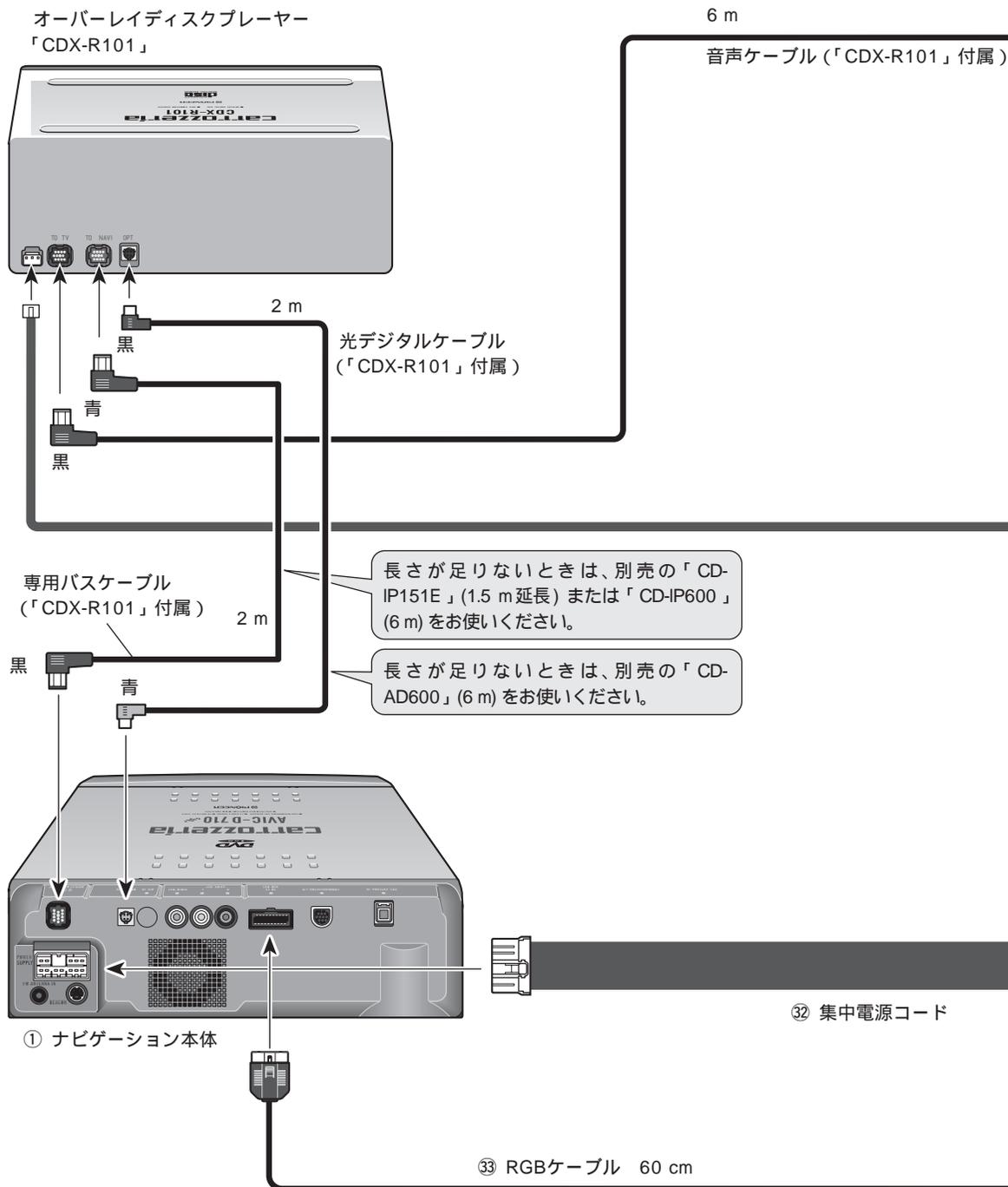
接続のしかた

# オーバーレイディスクプレーヤーの

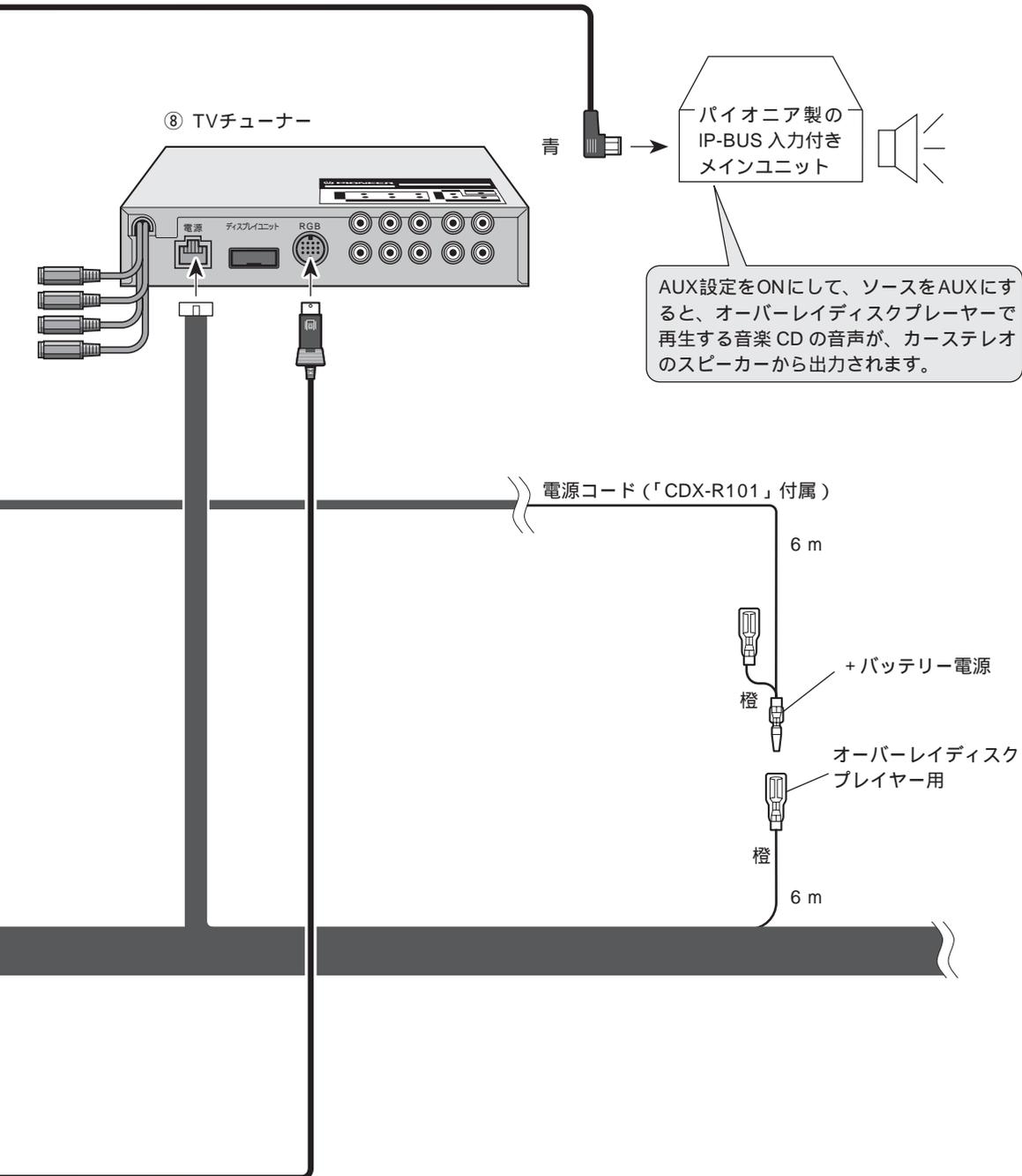
-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

## IP-BUS入力付きカーステレオと接続する場合

オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」とパイオニア製IP-BUS入力付きカーステレオを組み合わせる場合は、「CDX-R101」に付属の音声ケーブルで「CDX-R101」をカーステレオに接続します。



# 接続



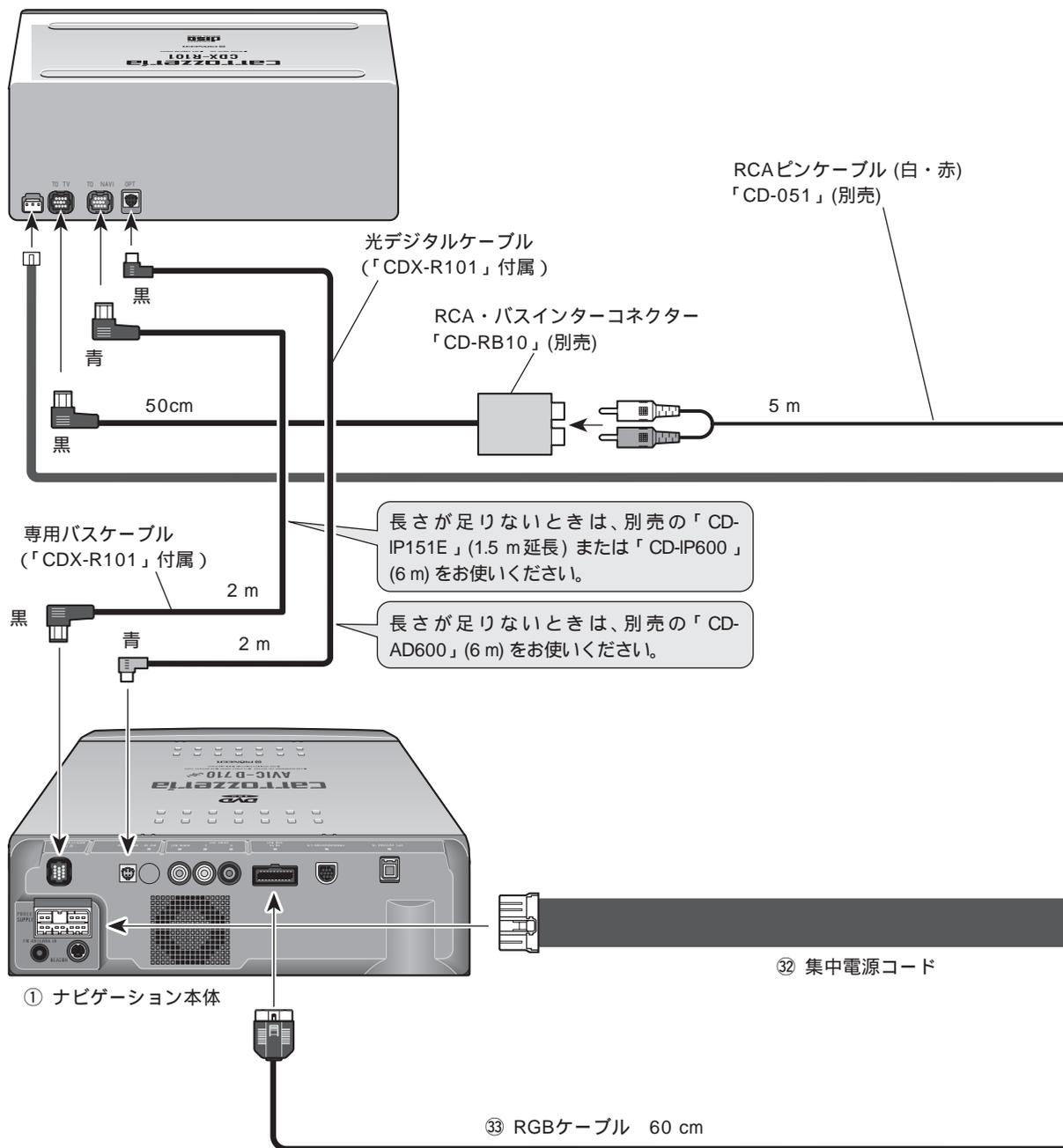
# オーバーレイディスクプレーヤー

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

## FM付きカーステレオと接続する場合

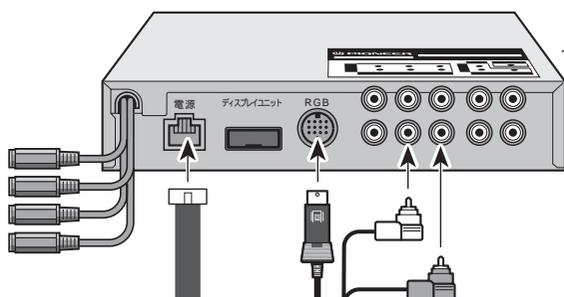
オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」とFM付きカーステレオを組み合わせる場合は、別売のRCA・バスインターコネクター「CD-RB10」で「CDX-R101」をTVチューナーに接続します。

オーバーレイディスクプレーヤー  
「CDX-R101」



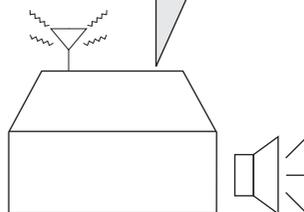
# の接続 (つづき)

⑧ TVチューナー



FM電波

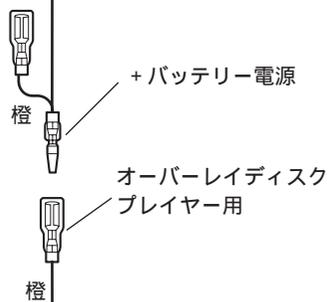
FMトランスミッター機能を使用してオーバーレイディスクプレーヤーで再生する音楽CDの音声がかーステレオのスピーカーから出力されます。



TVモニター の [ビデオモード設定] の [ビデオ2設定] を [ビデオ設定] にして ( [取扱説明書] 88 ページ ) [外部出力設定] を [ビデオ2] に切り換えてください。 ( [取扱説明書] 86 ページ )

電源コード (「CDX-R101」付属)

6 m



橙

橙

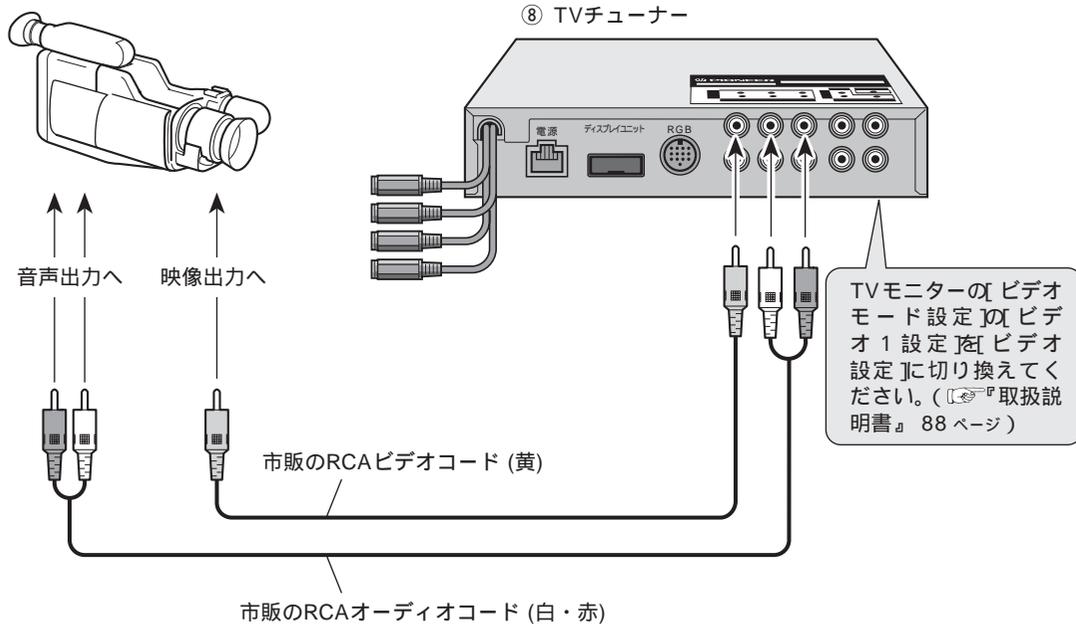
6 m

# ビデオの接続

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

8 mm ビデオやポータブルビデオを接続すると、その映像や音声を楽しむことができます。

8 mm ビデオやポータブルビデオ



## メモ

接続するビデオの端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。

ビデオを接続するときは、本機およびビデオの電源をOFFにしてから接続してください。

接続するビデオの音声がモノラル出力の場合は、TVチューナーの、RCAビデオ入力1の音声「左」(白)に接続してください。「左」(白)はモノラル音声に対応していますが、「右」(赤)は対応していません。

# リアモニターへの接続

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

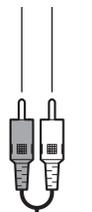
後部座席用のモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

市販のカーテレビ



音声入力へ

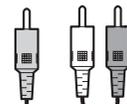
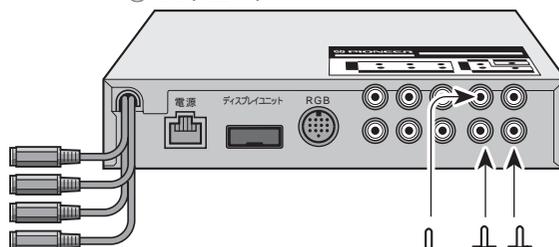
映像入力へ



市販のRCAビデオコード (黄)

市販のRCAオーディオコード (白・赤)

⑧ TVチューナー



接続のしかた

## メモ

接続するモニターの端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。

モニターを接続するときは、本機およびモニターの電源をOFFにしてから接続してください。

ナビゲーションの映像は、リアモニターには出力されません。

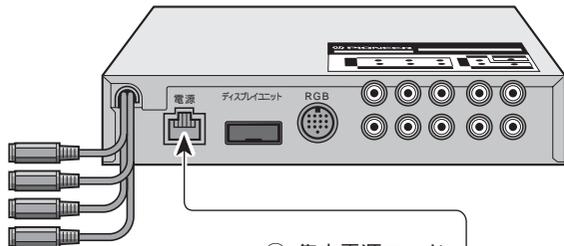
# 電源コードの接続

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

① ナビゲーション本体



⑧ TVチューナー



③② 集中電源コード

**アース**  
車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

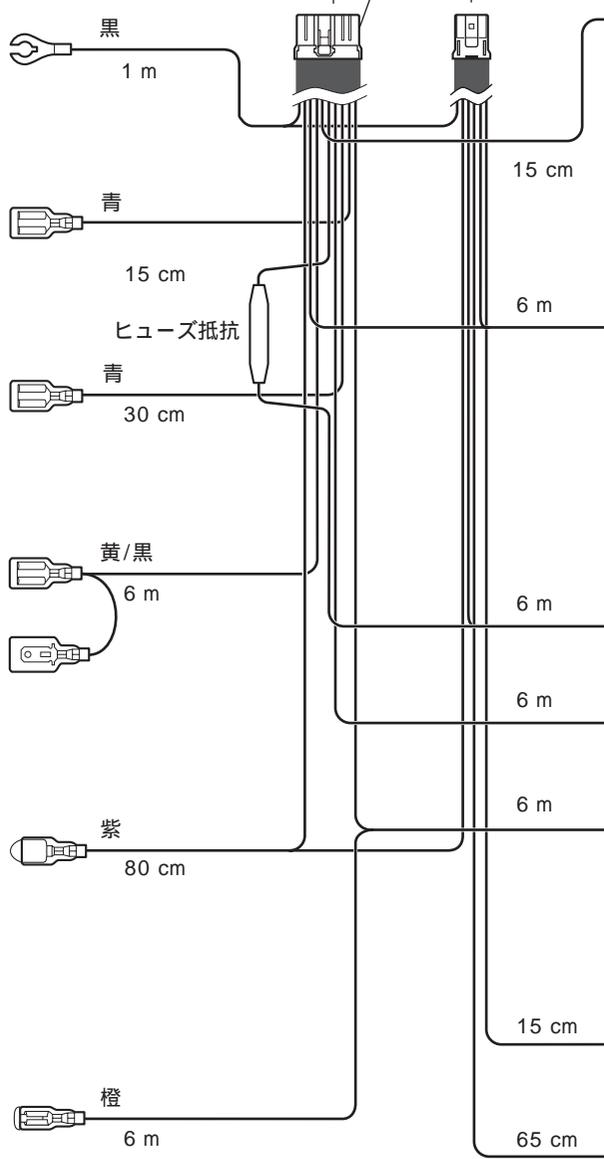
**ビーコンコントロール**  
VICS用ビーコン受信機「ND-B2」(別売)と組み合わせるときに、「ND-B2」の青リード線(ビーコンコントロール入力)に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。ご注意:「ND-B1」を組み合わせる場合は、車両のアクセサリ電源から電源をお取りください。このビーコンコントロールでは動作しません。

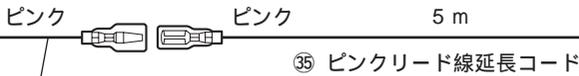
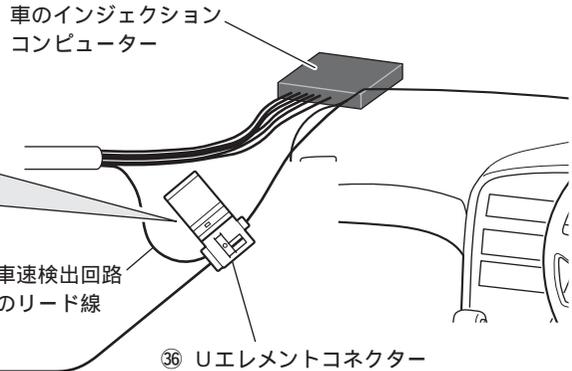
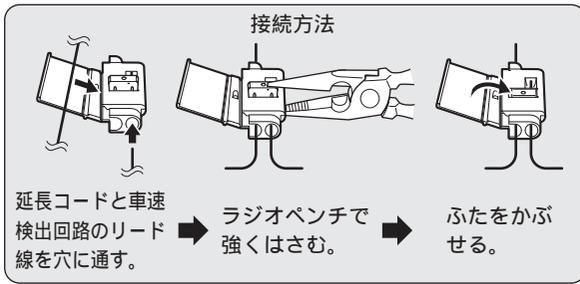
**オートアンテナリモートコントロール**  
FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続するときに、「RD-FD20」の青リード線(オートアンテナリモートコントロール)に接続してください。

**ミュート**  
パイオニア製のカーステレオと組み合わせるときに、カーステレオに黄/黒リード線(ミュート)がある場合、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。ガイド音声が出力されるときに、カーステレオにオーディオミュートがかり音量が小さくなります。(オーディオミュートをしないように変更することができます。詳しくは 47ページ)

**ND-PG1 接続時のみ使用 バック信号入力**  
車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続した場合は、内蔵のセンサーが前進/後退を判断することができなくなります。この場合は「ND-PG1」に付属の紫リード線延長コードを使用してバックランプの+側リード線に必ず接続してください。それ以外は何も接続しないでください。通常は、内蔵のセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、何も接続する必要はありません。(何も接続しないときはキャブをはずさないでください。) 詳しい接続方法は、「ND-PG1」の追加説明書をご覧ください。

**オーバーレイディスクプレーヤー用**  
オーバーレイディスクプレーヤー「CDX-R101」(別売)と組み合わせるときにシールをはがして使用します。「CDX-R101」の橙リード線(+バッテリー電源)に接続してください。それ以外は何も接続しないでください。(何も接続しないときはシールをはがさないでください。)

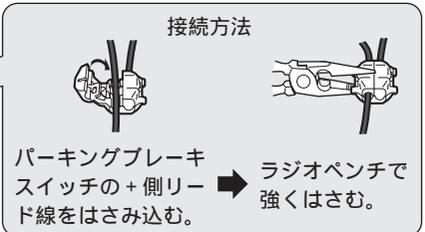
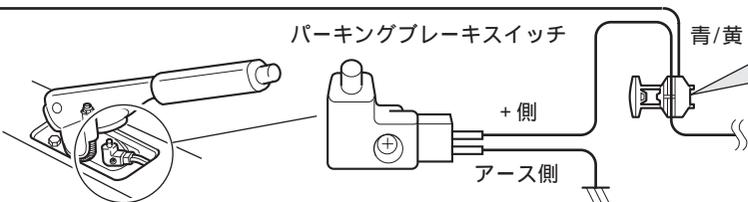




**車速信号入力**  
車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

インジェクションコンピューターの車速検出回路や、パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

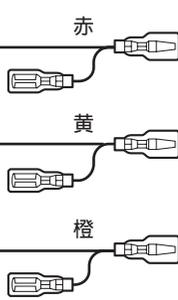
**パーキングブレーキスイッチ**  
車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。



ヒューズ (3 A)

ヒューズ抵抗

ヒューズ (7.5 A)



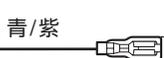
**アクセサリ電源**  
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

**イルミ電源**  
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路(時計の照明回路やスモールランプ回路など)に接続してください。

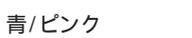
**+ バッテリー電源**  
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注: ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注: 赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。



**外部ユニット用コントロール出力**  
将来、外部ユニットを接続するときに使用します。現在は使用しません。何も接続しないでください。



**FMトランスミッター送信用アンテナ**  
何も接続しないでください。カーステレオのFM電波の受信状態が良くなる場所へ引き回してください。

# VICS/FM 多重アンテナの接続

## 接続のポイントと接続上のご注意

電波の弱い地域では、FM 多重用には、専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続するか、FM 多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続してください。(なお、付属のTVアンテナは4素子ともテレビ用として使用してください。)

首都圏中心部ではFM 多重放送の送信出力が高く、付属のTVアンテナの1素子をFM 多重用として使用できる場合があります。その他の地域では送信出力が低いいため、TVアンテナでは十分な感度を得られません。

電波の弱い地域で、付属のTVアンテナの1素子をFM 多重用として使用すると、FM 多重放送やテレビを感度良く受信できない場合があります。

車載のアンテナがガラスアンテナの場合は、車載のアンテナでは十分な受信感度が得られないことがあります。できるだけ専用のアンテナを接続することをおすすめします。

別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は、FM 多重用には使用できません。接続しないでください。

ノイズ防止のため、FM 多重アンテナのアンテナコードおよびTVアンテナのアンテナコードは、ナビゲーション本体および他のコード類(電源コードやモニター接続ケーブルなど)からできるだけ離して配線してください。束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

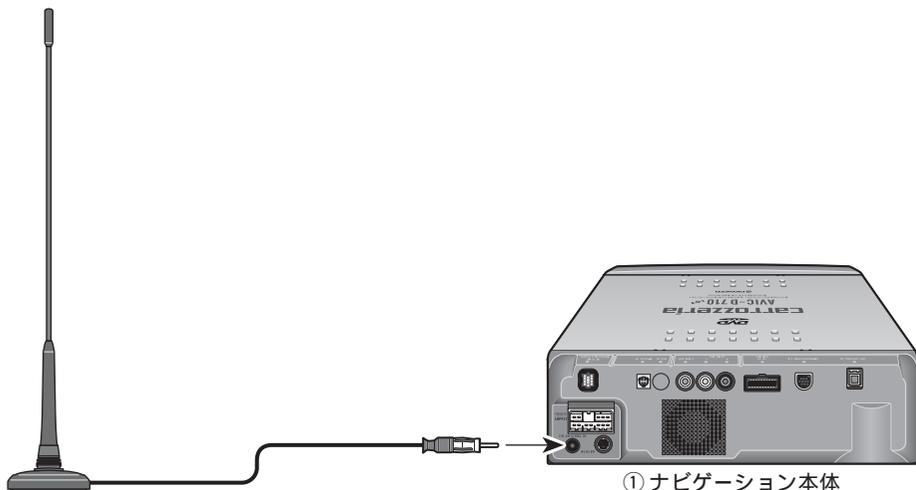
アンテナコードにノイズが飛び込むと、FM 多重放送やテレビの受信感度が悪くなります。

## 専用のアンテナを接続する方法

専用のアンテナ「AN-8」(別売)または「AN-F10」(別売)を接続します。

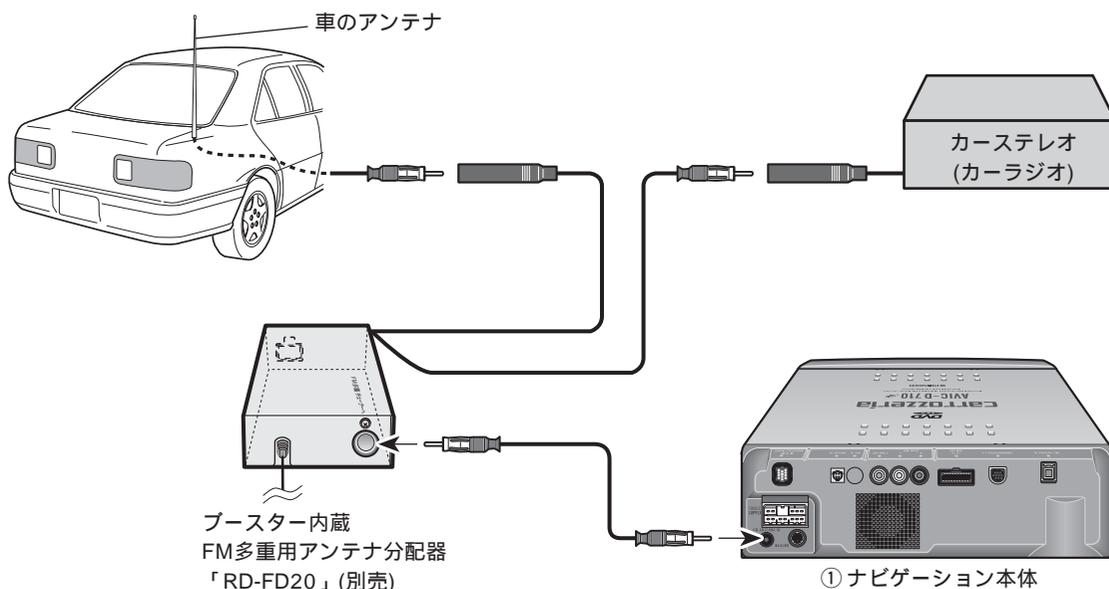
注：別売のTVアンテナ「AN-G1」、「AN-G2」、「AN-G3」は使用できません。接続しないでください。

FM 多重用アンテナ  
「AN-F10」(別売)



## 車載のアンテナを接続する方法

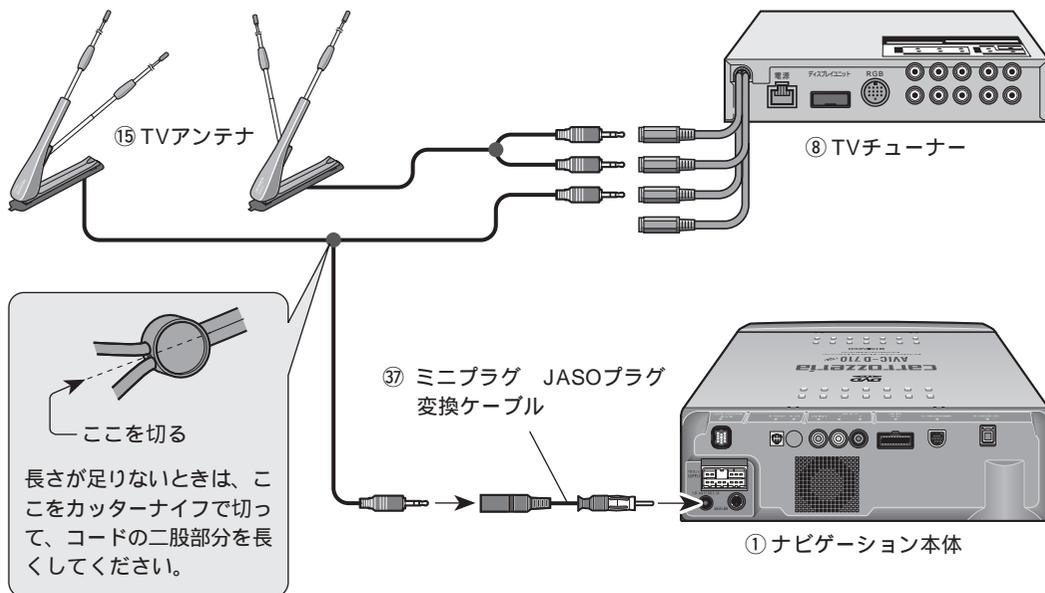
ブースター内蔵FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して車載のアンテナを接続します。



接続のしかた

## TV アンテナを接続する方法

電波の強い地域では、付属のTVアンテナの1素子を接続することもできます。



# 取り付けの前に知ってほしいこと

## 取り付けのポイント

### 取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

### 粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

### ノイズ防止のために

ナビゲーション本体およびGPSアンテナは、TVアンテナ、FM/AMアンテナおよびそのアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。

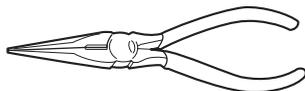
GPSアンテナやGPSアンテナのアンテナコードからノイズが飛び込むと、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

## 取り付け工具

取り付けかたによって、使用する工具が違います。取り付け作業を行う前に、取り付けに必要な工具を確認してください。



スパナ



ラジオペンチ



カッターナイフ



プラスチックドライバー



ドリル

# ナビゲーション本体の取り付け

## 取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

\* ダッシュボードやリアートレイの上のように、直射日光の当たる場所。

\* ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。

しっかりと固定できる場所を選んで取り付けてください。しっかりと固定されていないと、現在地を正しく表示できなくなります。

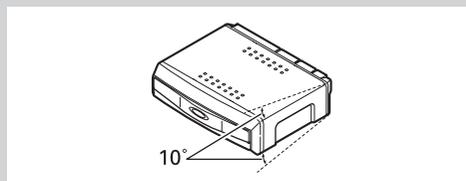
スペアタイヤボードなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。

荷物などが当たる場所には取り付けしないでください。強い衝撃が加わると、現在地を正しく表示できなくなります。

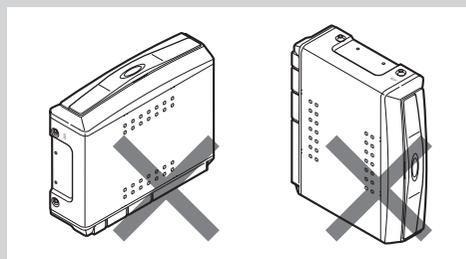
スペアタイヤ、ジャッキ、工具などの出し入れの邪魔にならない場所を選んで取り付けてください。また、DVD-ROMディスクが出し入れできることを確認してください。

ナビゲーション本体を設置する床面の下部に、マフラー等の高温になるものがあり、床面が熱くなるような場合、保護回路が働き動作停止することがあります。このような場所には取り付けしないでください。

上下の傾きは、水平に対して、10度以内の角度で取り付けてください。角度が大きくなると、現在地を正しく表示できなくなります。



縦置きしないでください。故障の原因となります。



## ナビゲーション本体の取り付けについて

### 2つの取り付け方法があります

#### トランク内の床に取り付ける方法

粘着テープで固定するため、車を加工することなく取り付けことができますが、取り付け強度はトランク内の取付ボードに取り付ける方法に比べると弱くなります。

#### トランク内の取付ボードに取り付ける方法

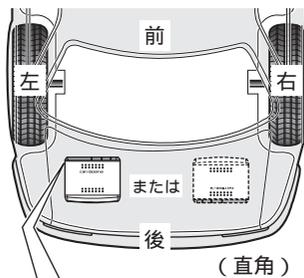
トランク内に設置した取付ボードに穴を開けて、ネジで取り付けます。しっかりと固定することができます。

# ナビゲーション本体の取り付け (つづき)

## 取り付ける向きについてのご注意

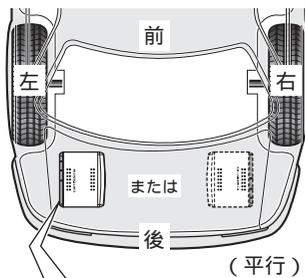
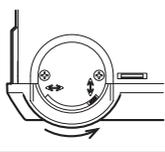
ナビゲーション本体の左右が、車の進行方向に対して直角または平行になるように取り付けてください。斜めには取り付けないでください。車の進行方向に対して斜めに取り付けると、現在地を正しく表示できなくなります。

ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、内蔵のGセンサーを正しく動作させるため、必ず本体底面の取り付け方向レバーを「↔」側に切り換えてください。



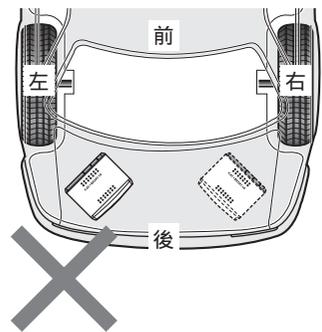
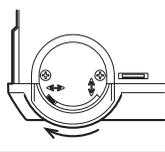
(直角)

底面の取り付け方向レバー



(平行)

底面の取り付け方向レバー

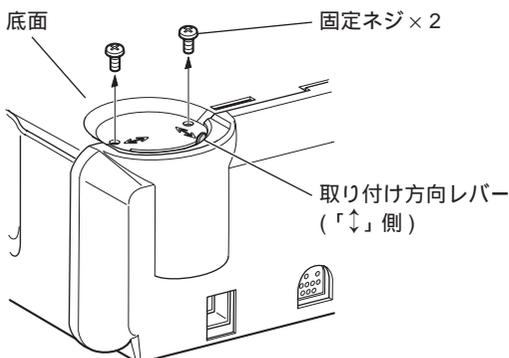


取り付け方向レバーは、矢印が進行方向を指す方に切り換えます。

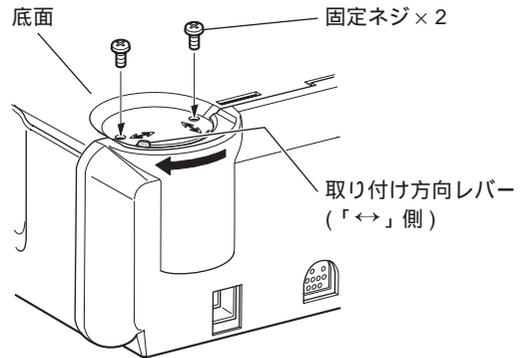
## ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは

ナビゲーション本体の左右を、車の進行方向に対して平行に取り付けるときは、本体底面の取り付け方向レバーを「↕」側から「↔」側に切り換えてください。「↕」側のまま取り付けると、内蔵のGセンサーが正しく動作しません。

### 1 取り付け方向レバーの固定ネジを取り外す



### 2 レバーを「↔」側にし、固定ネジを締める

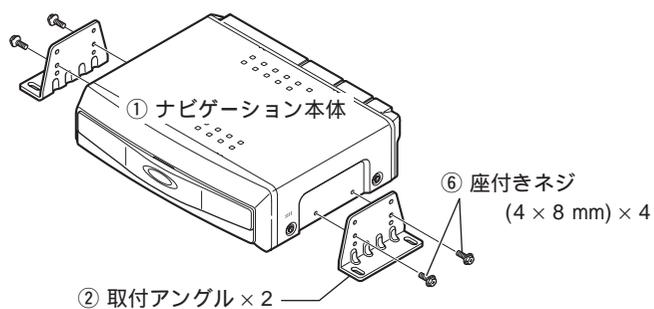
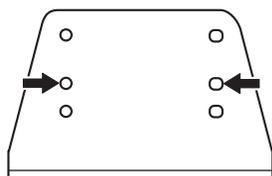


## 取付アングルを取り付ける

### 取付アングルをナビゲーション本体に取り付ける

ナビゲーション本体を車に取り付けるために、取付アングルをナビゲーション本体に取り付けます。

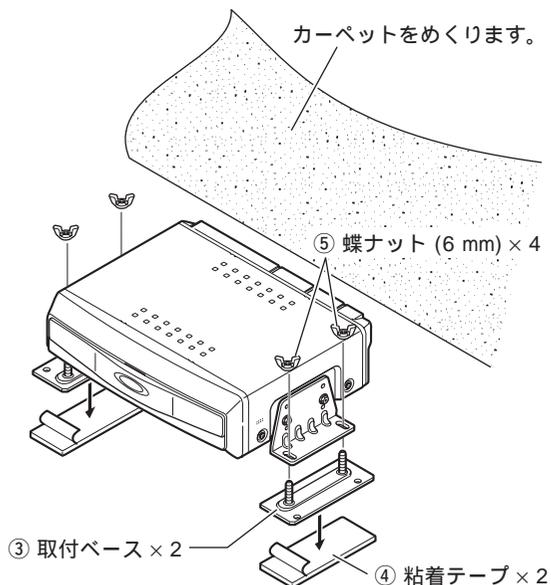
取付アングルの次の穴を使用します。



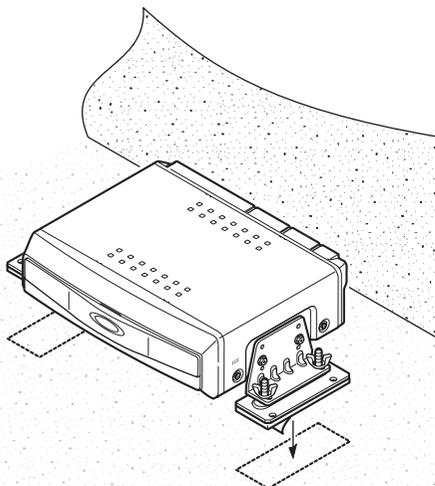
# ナビゲーション本体の取り付け (つづき)

トランク内の床に取り付ける場合

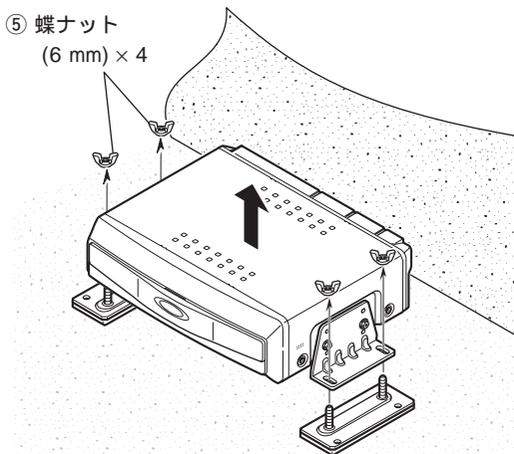
## 1 取付アングルに取付ベースを取り付ける



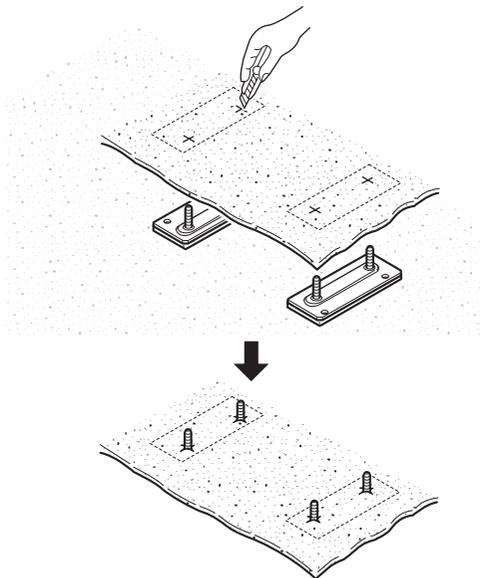
## 2 取り付ける位置を決め、粘着テープを貼る



## 3 蝶ナットを外し、本体を一度取り外す

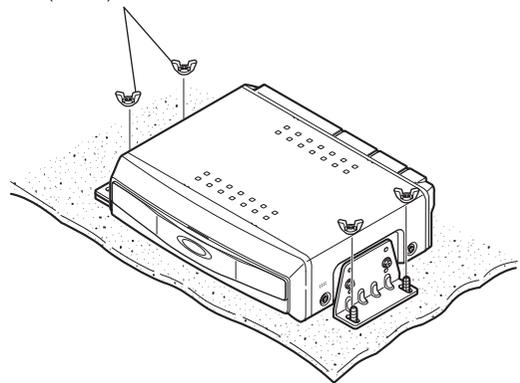


## 4 カーペットを元に戻し、ネジ部をカーペットの上に出す



## 5 本体を取り付け、しっかり固定する

⑤ 蝶ナット  
(6 mm) × 4

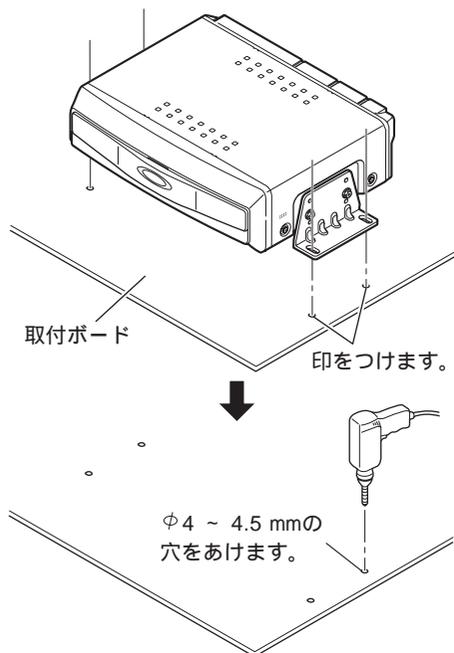


取り付けかた

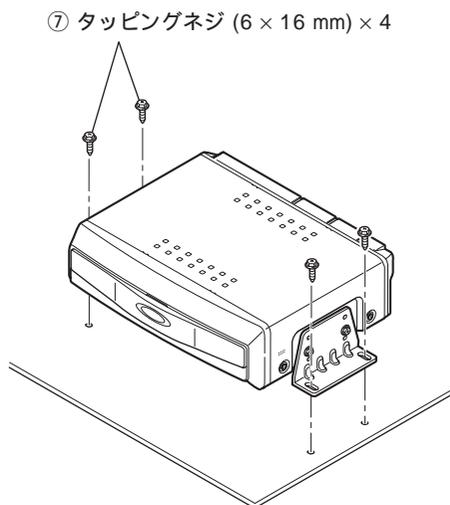
# ナビゲーション本体の取り付け (つづき)

トランク内の取付ボードに取り付ける場合

## 1 取り付ける位置を決め、穴を開ける



## 2 タッピングネジで、しっかり固定する



# TVチューナーの取り付け

## 取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

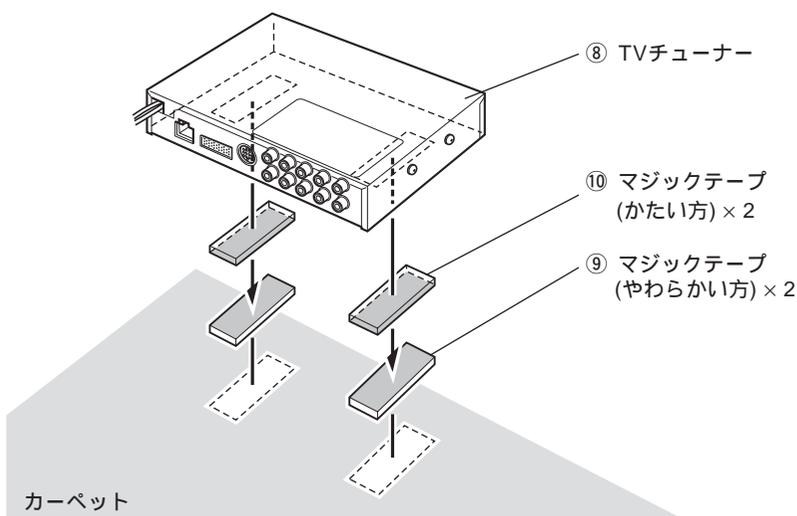
- \* ダッシュボードやリアートレイの上のように、直射日光の当たる場所。
- \* ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかけやすい場所には取り付けしないでください。

フロントシートの下に取り付けるときはシートのスライドに支障がないように取り付けてください。

ノイズ防止のため、ナビゲーション本体とTVチューナーは重ねて取り付けしないでください。

付属のマジックテープ(かたい方)をTVチューナーの底面に、マジックテープ(やわらかい方)を取り付け場所に貼り付けます。



取り  
付け  
かた

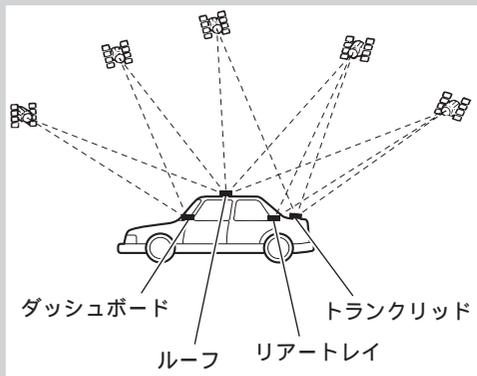
## メモ

マジックテープ(かたい方)がカーペットにくっつく場合は、カーペットに直接取り付けすることもできます。この場合、マジックテープ(やわらかい方)は使用しません。

# GPS アンテナの取り付け

## 取り付け上のご注意

GPSアンテナは、GPS衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。(どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。)



GPSアンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度が得られなくなります。

付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。

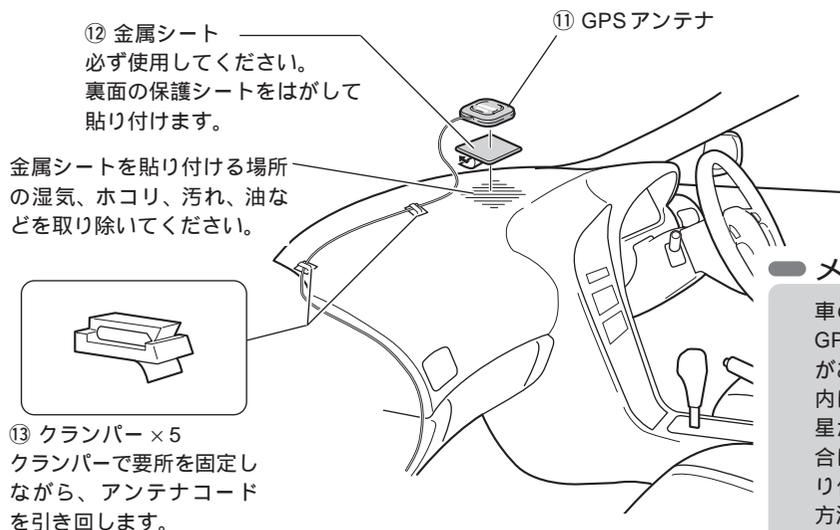
GPSアンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。

GPSアンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。

GPSアンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。

## 車内 (ダッシュボードやリアートレイの上) に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPSアンテナを金属シートの上に置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)



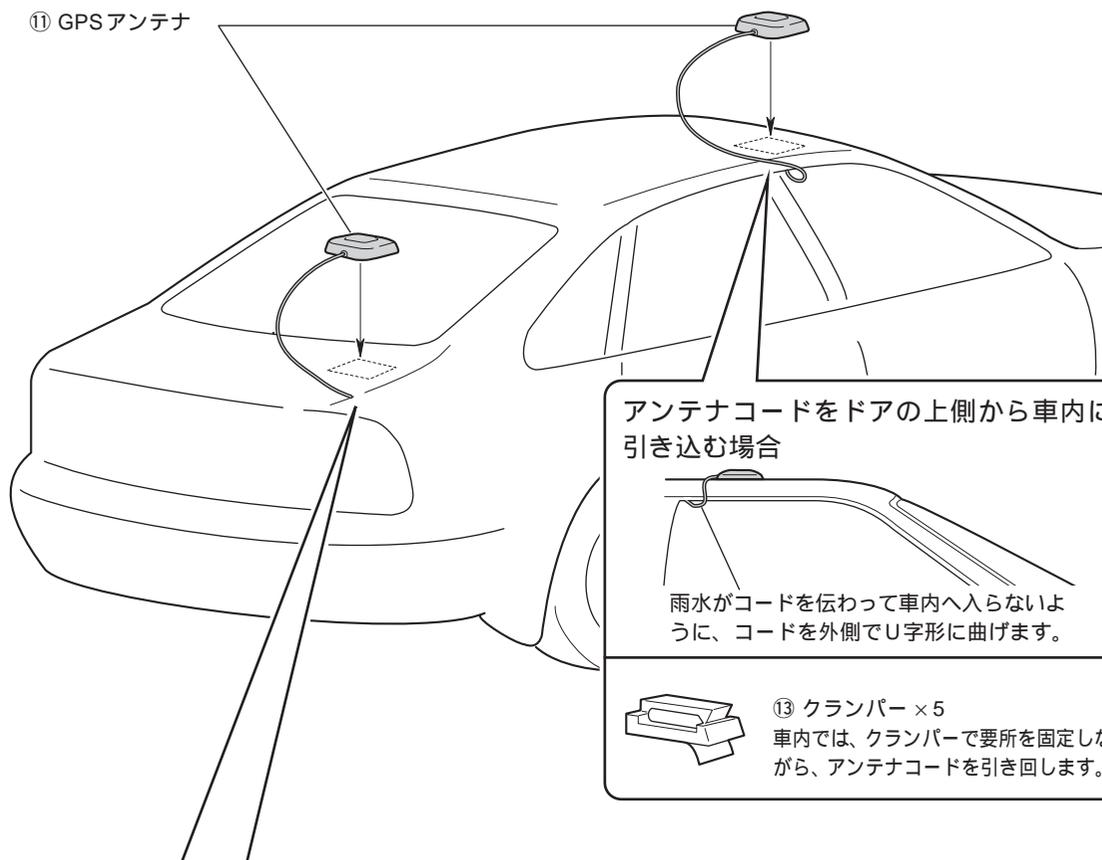
## メモ

車のウィンドガラスの一部に、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けたときに、GPS衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。(確認方法は 45 ページ)

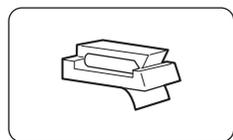
## 車外 (車のボディ) に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所にGPSアンテナを置きます。(GPSアンテナの磁石で固定されます。)

### ⑪ GPSアンテナ



### アンテナコードをトランク内に引き込む場合



⑬ クランパー × 5  
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング

⑭ 防水パッド  
トランクを閉めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

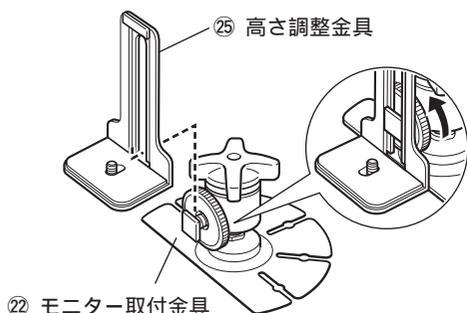
雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

# TV モニターの取り付け

## ダッシュボードに取り付ける場合

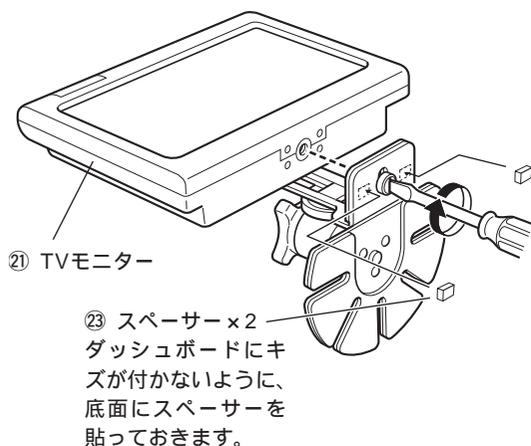
### 1 モニター取付金具に高さ調整金具を取り付ける

高さ調整金具の溝にモニター取付金具を差し込み、金具固定ネジを締めて固定します。



### 2 高さ調整金具にTVモニターを固定する

高さ調整金具のモニター固定ネジをTVモニター底面のネジ穴に合わせ、モニター固定ネジを締めて固定します。

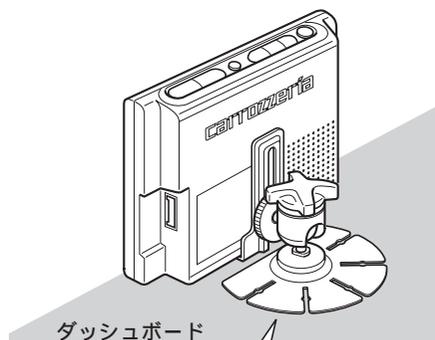


### 3 TVモニターを取り付ける位置を決める

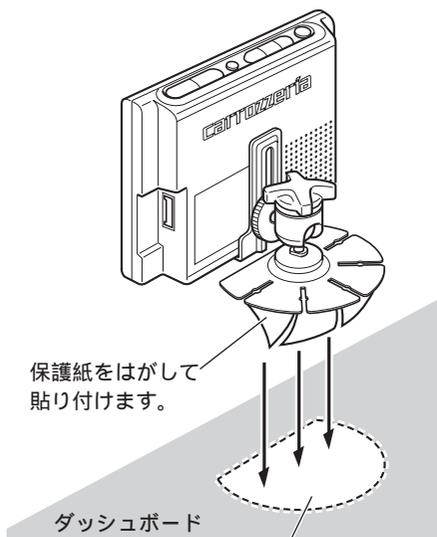
モニター取付金具の裏側の保護紙をはがさず、ダッシュボードに当て、TVモニターを取り付ける位置を決めます。

次の場所を選んでください。

- \* 運転の妨げにならない場所。
- \* エアバッグなど車の安全装置の妨げにならない場所。
- \* TVモニターを傾けてもフロントガラスに当たらない場所。
- \* TVモニターの底面がダッシュボードに当たる場所。



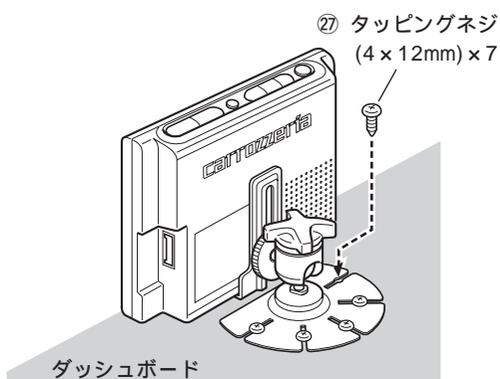
## 4 TVモニターをダッシュボードに貼り付ける



TVモニターを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

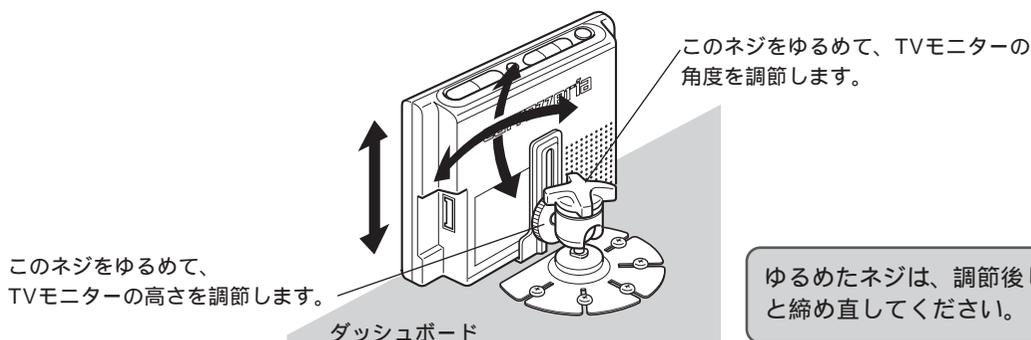
## 5 タッピングネジで固定する

タッピングネジで、モニター取付金具をダッシュボードにしっかりと固定します。



## 6 TVモニターの底面に貼ったスペーサーがダッシュボードに当たるように調節する

TVモニターを安定させるため、TVモニターの底面に貼ったスペーサーがダッシュボードに当たるように (TVモニターをダッシュボードの上に置くように)、上下の高さを調節してください。また、TVモニターを見やすい角度に調節してください。



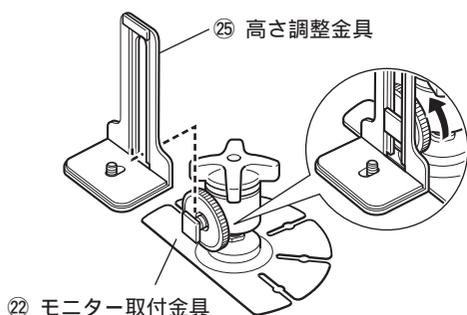
ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

# TV モニターの取り付け (つづき)

グローブボックスに取り付ける場合

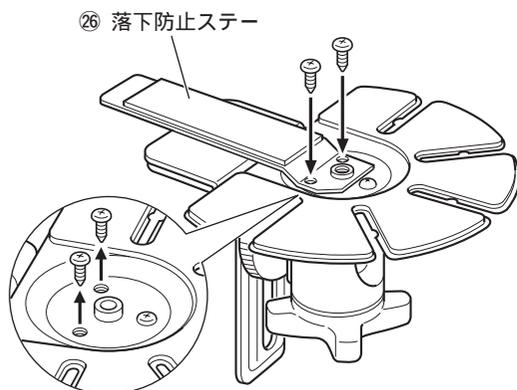
## 1 モニター取付金具に高さ調整金具を取り付ける

高さ調整金具の溝にモニター取付金具を差し込み、金具固定ネジを締めて固定します。



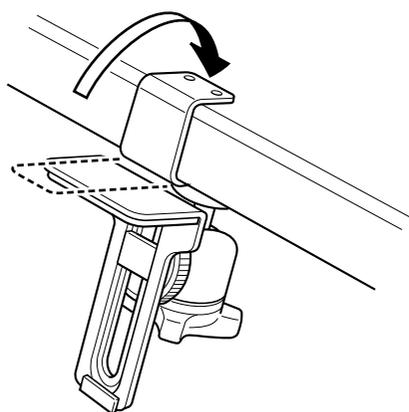
## 2 落下防止ステーを取り付ける

モニター取付金具の底面のネジを外して、そのネジで落下防止ステーを締めて固定します。



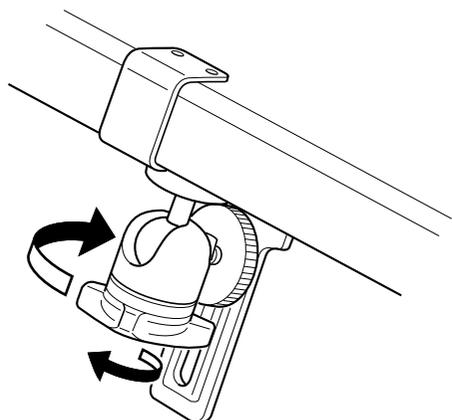
## 3 グローブボックスのふたを開け、落下防止ステーを仮止めする

落下防止ステーの裏側の保護紙をはがさずに、グローブボックスのふたに当てて、モニターを取り付ける位置を決めます。位置を決めたら、グローブボックスのふたに沿うように落下防止ステーを折り曲げます。



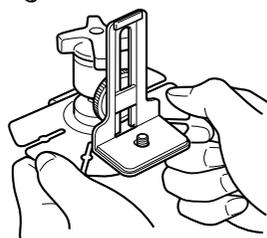
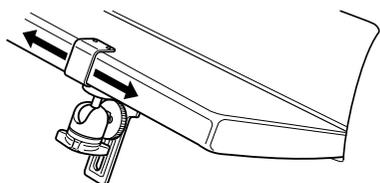
## 4 高さ調整金具の向きを変える

高さ調整金具の金具固定ネジをゆるめて180度回転させます。



## 5 TVモニターを取り付ける位置を決める

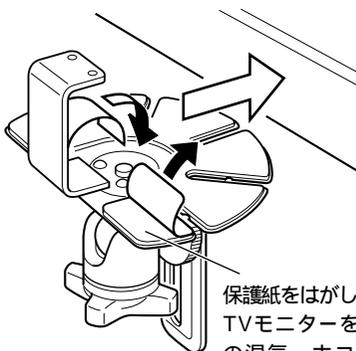
モニター取り付け金具の裏面の保護紙をはがさず、グローブボックスの前面に当て、TVモニターを取り付ける位置を決めます。



グローブボックス前面の形状に合うように、曲げてください。

## 6 モニター取付金具と落下防止ステーをグローブボックスのふたに貼り付ける

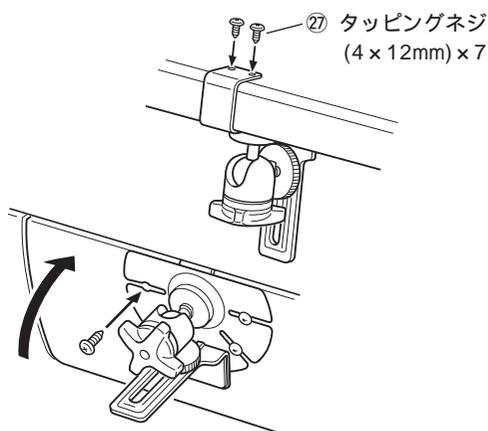
モニター取付金具と落下防止ステーの裏側の保護紙をはがして、グローブボックスのふたに貼り付けます。



保護紙をはがして貼り付けます。TVモニターを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

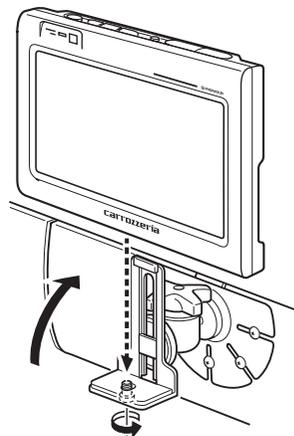
## 7 タッピングネジで固定する

タッピングネジで、モニター取付金具と落下防止ステーをグローブボックスのふたにしっかりと固定します。



## 8 高さ調整金具にTVモニターを固定する

高さ調整金具のモニター固定ネジをTVモニター底面のネジ穴に合わせ、モニター固定ネジを締め、固定します。



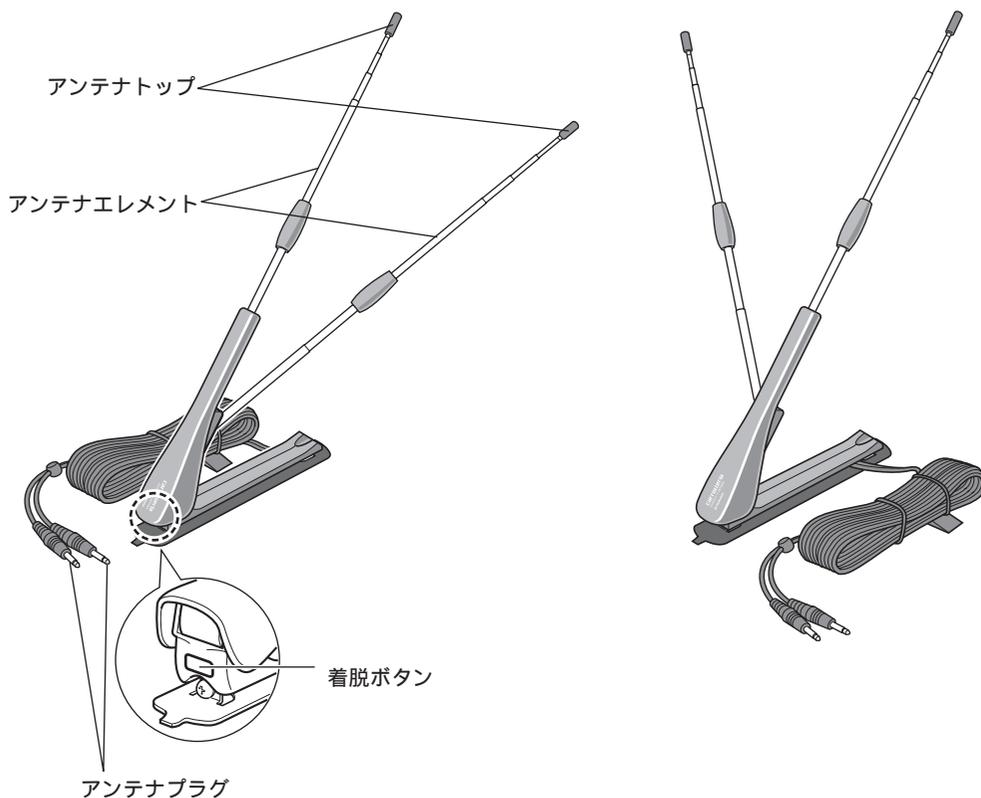
モニター取付金具を貼り付けてから 24 時間以上経過した後、TVモニターを取り付けてください。

# TV アンテナの取り付け

## 各部のなまえ

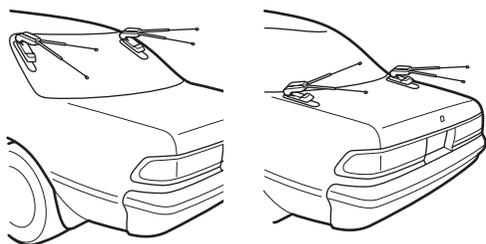
右用

左用



## 取り付け場所について

アンテナはリアーガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感が良くなります。

リアーガラスに取り付けるときは、トランクを開けたときに、トランクがアンテナのエレメントに当たらない位置（できるだけ高い位置）に取り付けてください。

トランクリッドに取り付けるときは、トランクを開けたときに、アンテナがリアーガラスに当たらない位置に取り付けてください。

リアーガラスに取り付けるときは、リアーワイパーの可動範囲を確認し、リアーワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けしないでください。ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。

アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーのリアーガラスには、絶対に取り付けしないでください。

1ボックスカー 2ボックスカー



### 取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。

確実に貼り付けるため、取り付けは、天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

気温が低いときにリアーガラスに取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアーデフォガススイッチをONにして暖めておいてください(20℃以上)。

リアーガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。(リアーガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は、指で触ったり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

リアーガラスに取り付けるときは、アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、必ず付属のガラスクリーナー剤を使用して、きれいな布で取り除いてください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

付属のガラスクリーナー剤は、塗装をはがすことがありますので車のボディには使用しないでください。

フッ素樹脂処理および再塗装された車のボディには貼り付けられません。

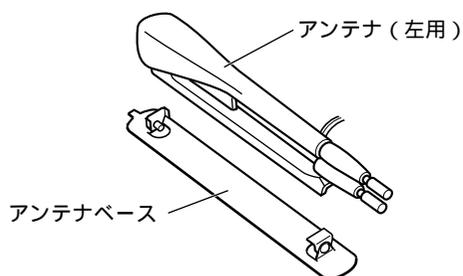
取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当てないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

# TV アンテナの取り付け (つづき)

## リアーガラスへの取り付けかた

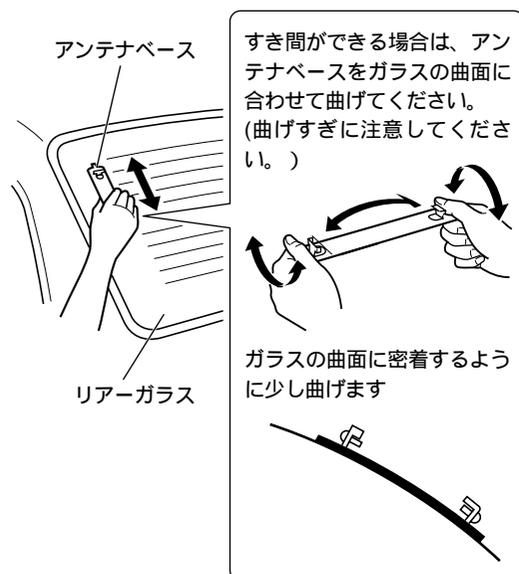
### 1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。  
( 41ページ)



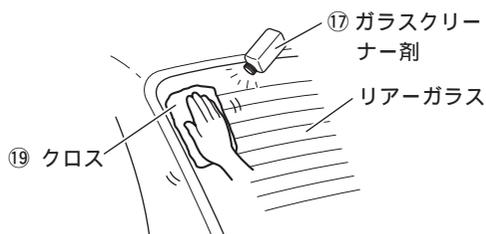
### 2 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースを、裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面に、できるだけすき間ができない位置をさがします。



### 3 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- ① 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- ② クリーナー剤が白く乾いたら、水で洗い流します。
- ③ きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

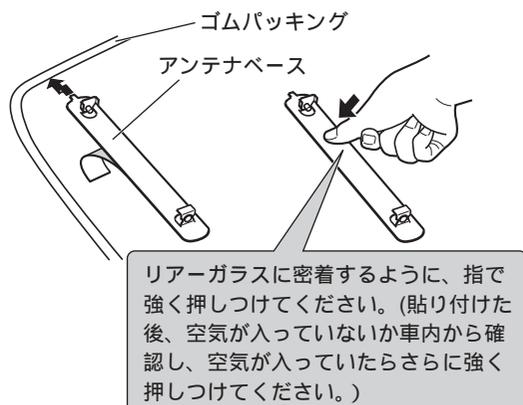


### 4 気温が低いときはリアーガラスを暖める

接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやリアードフォガススイッチをONにして、リアーガラスを20℃以上に暖めます。

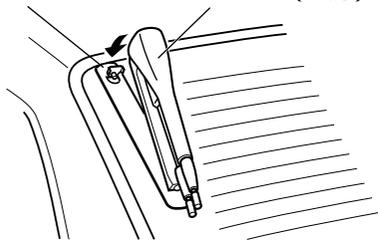
### 5 アンテナベースをリアーガラスに貼り付ける

アンテナベースの先端をゴムパッキングに差し込んで、裏側の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。



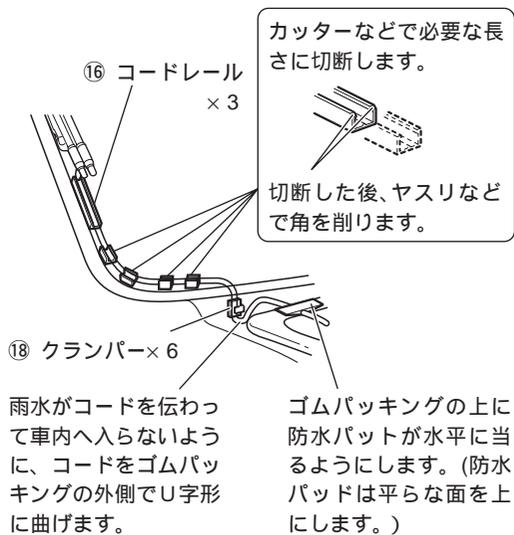
## 6 アンテナを取り付ける (👉 41 ページ)

アンテナベース      アンテナ (左用)



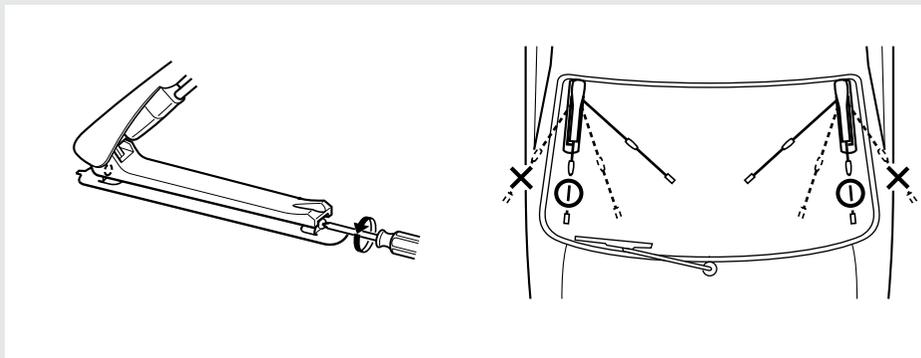
## 7 アンテナコードを車内に引き込む

付属のコードレールをリアガラスに貼り付け、コードを固定します。



### アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのぼしたとき、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本のネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



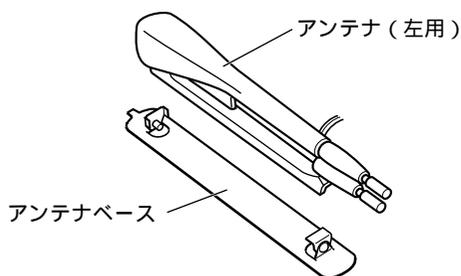
ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

# TV アンテナの取り付け (つづき)

## トランクリッドへの取り付けかた

### 1 アンテナを外す

アンテナをアンテナベースから取り外します。  
(☞ 41ページ)



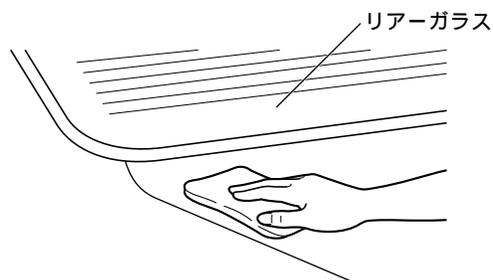
### 3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

- 1 透明シートをトランクリッドに貼り付けます。
- 2 透明シートにアンテナベースを貼り付けます。



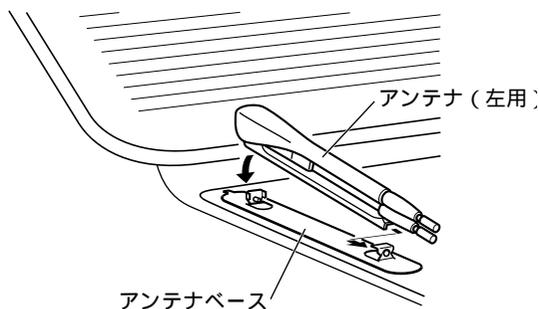
### 2 汚れ、油などを取り除く

アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



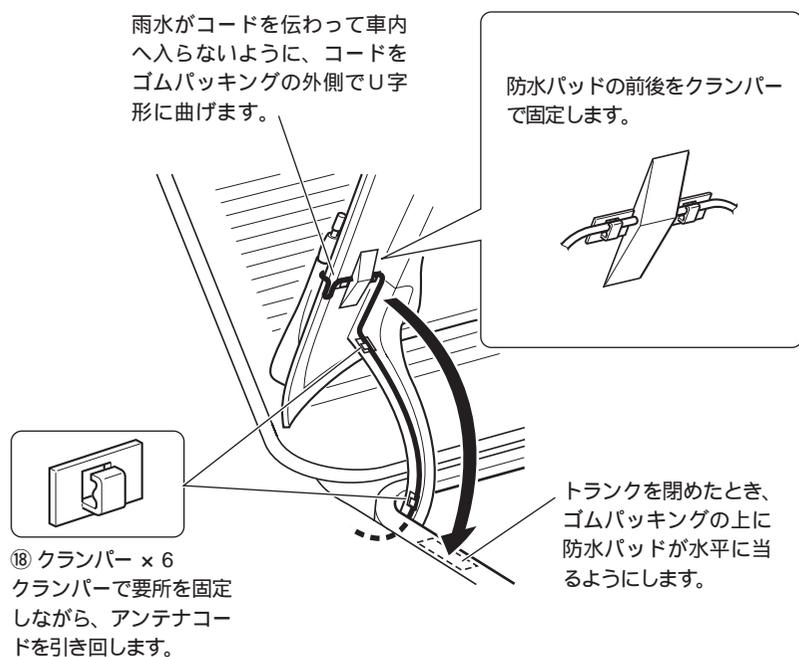
### 4 アンテナを取り付ける

(☞ 41ページ)



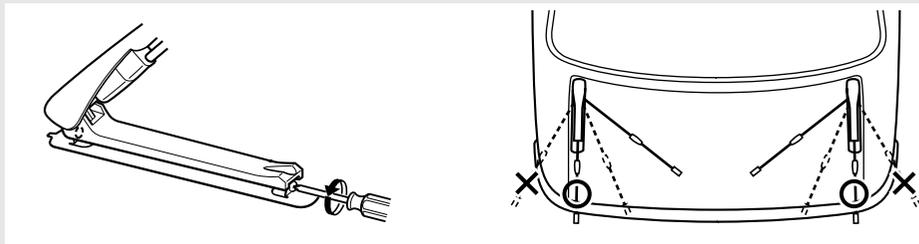
## 5 アンテナコードを 車内に引き込む

付属のクランパーや防水パッドで、コードを固定します。



## アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたとき、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本のネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

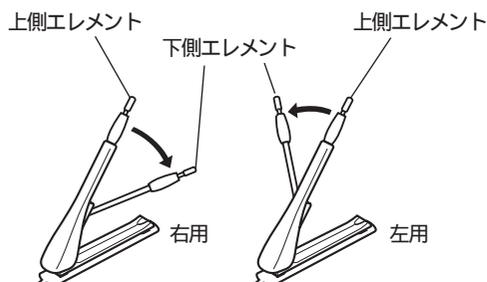
# TV アンテナの取り付け (つづき)

## アンテナの使いかた

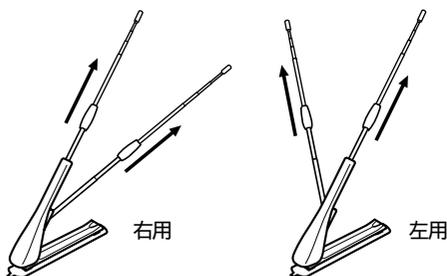
### 1 アンテナを 起こす



### 2 下側エレメントを 横いっぱいにする

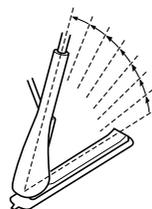


### 3 アンテナエレメントを いっぱいにする



### 4 アンテナの角度を 調節する

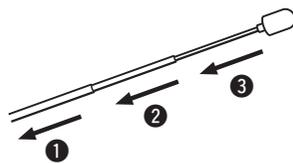
受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

### アンテナエレメントを収納する際 のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。



### メモ

トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえずられやすい場所では、鮮明な映像が得られない場合があります。

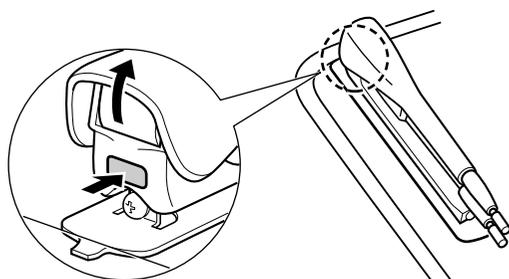
テレビの画面のままカーステレオでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入る場合があります。このときは、ナビゲーションの画面に切り換えてください。

## アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合は、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

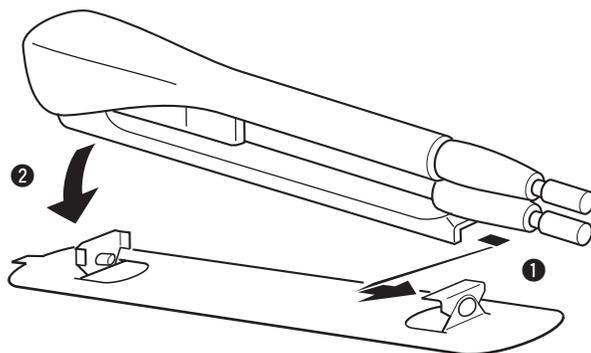
### アンテナの外しかた

着脱ボタンを押しながらアンテナを上を持ち上げます。



### アンテナの取り付けかた

① アンテナベースの後側のフックをアンテナの後側の溝に引っかけて、② アンテナベースの前側のフックをアンテナの前側の溝に差し込みます。（“カチッ”と音がすることを確認してください。）



### アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品で拭かないでください。表面が侵されることがあります。

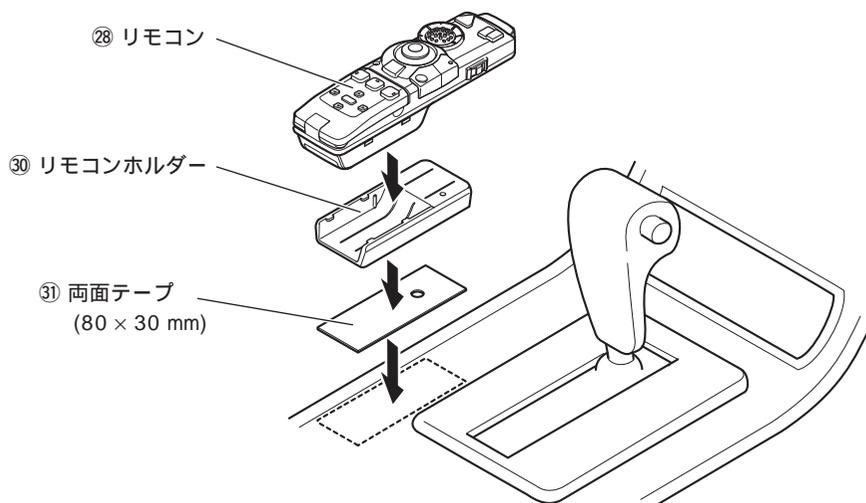
エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分を磨いてください。

アンテナのエレメントにアクセサリなどの飾りを付けしないでください。無理な力をかけると、エレメントが折れ曲がる恐れがあります。

# リモコンの取り付け

## 両面テープで貼り付ける場合

付属の両面テープ (80 × 30 mm) を使用して、リモコンホルダーを貼り付けます。



## 電池の入れかた

裏ボタンを外して、単4形アルカリ乾電池 (LR03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

## 取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

TVモニターのリモコン受光部 (『取扱説明書』15ページ) に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

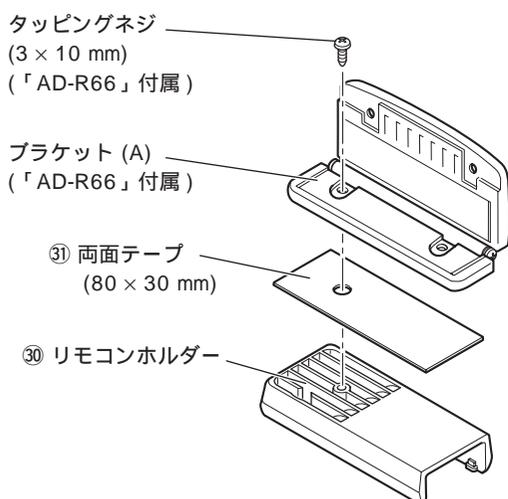
電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

電池を交換するときは、電池寿命の点から、アルカリ電池を使用することをおすすめします。

## 別売の「AD-R66」を使用して取り付ける場合

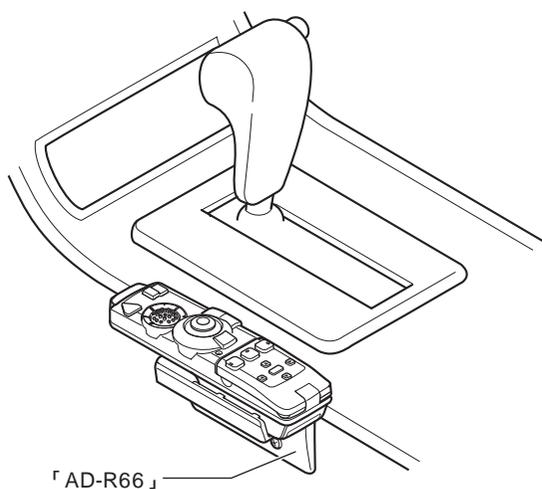
センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上にリモコンの取り付けスペースがない場合は、別売のメインコントローラーアタッチメント「AD-R66」を使用して取り付けます。

### 1 「AD-R66」に付属のブラケット (A) に リモコンホルダーを取り付ける



### 2 「AD-R66」を車に取り付ける

「AD-R66」の『取付説明書』を参照して、車に取り付けます。



# 接続の確認とナビゲーションの設定

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、はじめに接続の確認、3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。



ジョイスティックと決定ボタン

## 1 車のエンジンをかける



## 2 ボールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す

リセットボタンは、ドアを開けるとEJECTボタンの隣りにあります。



リセットボタン

## 3 ナビゲーション本体にディスクをセットする

(☞ 『取扱説明書』18ページ)

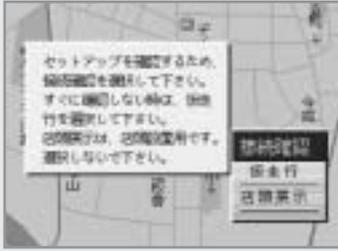
### メモ

この後の操作は、次ページの説明をご覧ください。

# を行う

## 接続を確認して、センサーリセットを行う

3Dハイブリッドセンサーが一度もリセットされていないと、次のような画面になります。  
[ 接続確認 ] を選び、決定ボタンを押してください。以下の説明を参考にして本機の接続状態を確認します。



確認が終わったら、必ずセンサーリセットを行ってください。  
(『取扱説明書』24ページ)

### 接続確認画面の見かた

**車速パルス：**車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると“ピッ”と発信音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。“ピッ”音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速5km程度）で行ってください。

**GPSアンテナ：**GPSアンテナの接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [ OK ] が、未接続の場合には [ NG ] が表示されます。

**GPS感度：**GPSアンテナの受信状態を確認できます。電波の受信しやすい見晴らしの良い場所で2本以上バーが表示されていれば良好です。バーが1本以下の場合、GPSアンテナの位置を変えて2本以上バーが表示される位置に取り付けてください。

**本体取り付け位置：**ナビゲーション本体の取り付け状態を確認できます。[ NG ] が表示された場合は、測位の精度が悪くなります。車の振動が少ない位置にしっかりと取り付けて、[ OK ] が表示されるのを確認してください。

**パーキングブレーキ：**パーキングブレーキスイッチ（青/黄リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると [ OFF ] かけ直すと [ ON ] が表示されます。

**イルミネーション：**イルミ電源（黄リード線）の接続状態を確認できます。車のライトを点灯させてください。ライトを点灯すると [ OFF ] 消すと [ ON ] が表示されます。

**ビーコンユニット：**VICS用ビーコン受信機「ND-B2」（別売）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば [ OK ] 未接続の場合には [ NG ] が表示されます。

**バック信号：**ND-PG1 接続時のみ使用 バック信号入力（紫リード線）の接続状態を確認できます。本機は、内蔵の3Dハイブリッドセンサーにより車の前進/後退を判断することができますので、紫リード線は、通常は接続しません。

車速パルス発生機「ND-PG1」を接続した場合は、ND-PG1 接続時のみ使用 バック信号入力を必ず接続してください。接続したら、パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏んでから次の操作を行ってください。

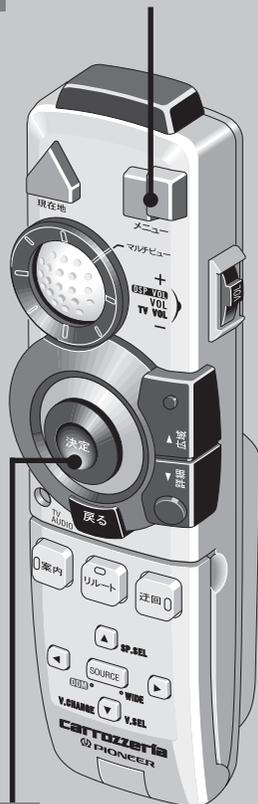
シフトレバーをR（リバース）の位置からR（リバース）以外の位置にすると車の絵の向きが左右反転されます。

画面の表示が記載されているようにならなかった場合は、正しく接続されていません。もう一度、接続に間違いがないか目で見て確認してください。

# 接続の確認とナビゲーションの設定

3Dハイブリッドセンサーのリセットが終わったら、[ 設定を変える - 初期設定 - その他の初期設定 ] のメニューでナビゲーションの設定を行ってください。

## 1 メニューボタン



## 2 ジョイスティックと

## 3 決定ボタン

## 1 メニューボタンを押してメニュー画面を表示させる



## 2 [ 設定を変える ] を選び、決定ボタンを押す



## 3 [ 初期設定 ] を選び、決定ボタンを押す



### メモ

この後の操作は、次ページ以降の説明をご覧ください。

## ミュートの設定を変更する

オーディオミュートの設定を変更したいときは

本機をパイオニア製のカーステレオと組み合わせ、ミュート(黄/黒リード線)を接続すると、カーステレオのオーディオ出力にミュート(アッテネート)をかけられます。これはナビゲーションの音声案内を聞き取りやすくしたり、音声認識率を良くするときに使います。

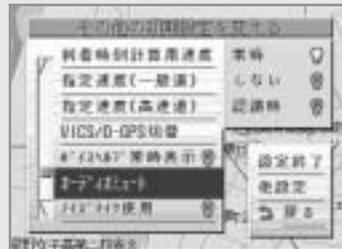
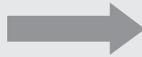
[ その他の初期設定 ] を選び、決定ボタンを押します。

次に、[ オーディオミュート ] を選び、決定ボタンを押して項目を選びます。

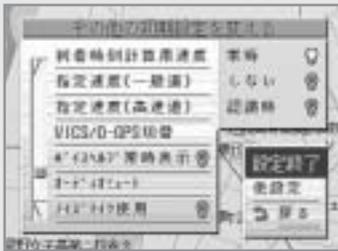
ナビゲーションの音声案内が行われるときにカーステレオにオーディオミュートをかけたい場合：[ 常時 ] を選びます。

カーステレオにオーディオミュートをかけたくない場合：[ しない ] を選びます。

音声操作時のみにカーステレオにオーディオミュートをかけたい場合：[ 認識時 ] を選びます。



設定し終わったら



[ 設定終了 ] を選び  
決定ボタンを押します。

決定ボタンを押すたびに設定が変わります。

「DEH-P707」と組み合わせ、ガイド音声入力を接続したときは、ガイド音声もミュートされてしまいますので、必ずオーディオミュートの設定を [ しない ] にしてください。

